

2017年 東アジア地域漂着ごみ対策交流事業の概要

<目次>

1 目的	1
2 参加団体	1
3 実施項目	2
4 行程表	3
5 実施内容	5
6 その他	6

1 目的

2015年の沖縄・台湾漂着ごみ対策交流事業では、沖縄県と台湾の行政機関、及び民間NPO団体が参加し、海岸漂着物に関して沖縄県と台湾の各地域で共通して取り組みたい項目をテーマごとに抽出しました。そして、双方が協働して海岸漂着物問題に取り組むことを確認しました。2016年では、引き続き、台湾の行政機関及び民間NPO団体と、海岸漂着物の現状、課題、対策について情報共有や意見交換を行い、共同モニタリング調査の検討及び環境教育に関する情報共有を行いました。本年度は、新たに上海、福建を交流対象に加え、東アジア地域における海岸漂着物の現状、課題についての意見交換や対策に関する検討を行う予定です。本事業は、交流の成果をそれぞれが今後の環境教育や普及啓発等の活動に取り入れ、海岸漂着物の発生抑制を推進することを目的として実施します。

2 参加団体

沖縄からは沖縄県環境部環境整備課、沖縄県海岸漂着物の発生抑制対策ワーキンググループの構成員、台湾からは新北市、花蓮県及びTOCA（台湾海洋クリーンアップ連盟）が参加します。また、今年は新たに上海、福建の民間団体も参加します。

表1 参加団体

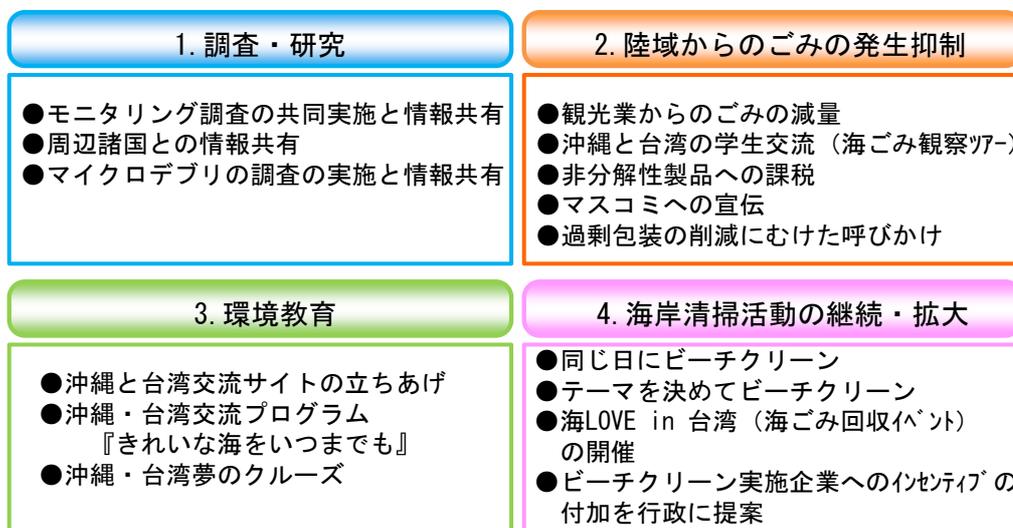
地域	関係者・関係団体	参加人数
沖縄	沖縄県 環境部 環境整備課	5人
	沖縄県海岸漂着物の発生抑制対策ワーキンググループ 構成員	15人
台湾	新北市政府	1人
	花蓮県政府 環境保護局	1人
	TOCA（台湾海洋クリーンアップ連盟加盟団体）	10人
上海	上海仁渡海洋交益友展中心	2人
福建	福建省環保志願者協會	3人

※オブザーバーを含む

事業支援：公益財団法人 沖縄県産業振興公社 台北事務所・上海事務所・福州駐在所

3 実施項目

2015年の交流事業では、以下のテーマ別に両地域間で共通して取り組みたい項目の抽出を行いました。テーマ別の主な項目は、図1のとおりです。



[平成26年度海外交流事業実施概要（日本語版）より作成]

図1 2015年沖縄・台湾漂着ごみ対策交流事業 共通課題から項目の抽出

2016年の交流事業では、このうち「海岸漂着物の調査・研究」と「環境教育」の2つのテーマに注目し、発生抑制をより具体的に進めるための方策について検討することとしました。これにより、以下の3点を決定しました。

- ①東アジア地域で同一手法による共同モニタリング調査を実施すること
- ②共同モニタリング調査では特に**ペットボトル、レジ袋、発泡スチロール**に着目し、結果を環境教育・普及啓発に活用すること
- ③共同モニタリング調査結果や環境教育事例等の情報共有のための**プラットフォーム（HP）を作成**すること、

2017年の交流事業では、モニタリング調査手法の決定とプラットフォームの内容について検討するとともに、「2. 陸域からの発生抑制」の取り組みとして「他業界への働きかけ」の可能性について検討を行います。

表 2 2017 年 東アジア地域漂着ごみ対策交流事業 実施項目

課 題	目 的	実施内容
調査・研究	それぞれの地域で共同モニタリング調査を実施し、調査データを環境教育や発生抑制等に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ●モニタリング結果の活用方法について ⇒モニタリング調査結果の活用案の検討 ●モニタリング手法の検討 ⇒必要なデータの種類（海岸漂着物の数、量等）、調査手法の検討 ●合同海岸調査 ⇒調査手法の確認 ●モニタリング調査手法の決定
環境教育		●プラットフォーム（HP）の作成
普及啓発	「他業界への働きかけ」についての検討	●「他業界への働きかけ」についての意見交換

4 行程表

日 程		開 催 内 容
2/10 (金)	午前	海岸見学 8:00~14:30 ★希望者のみ★ (沖縄県本部町新里地区 新里地先の海岸)
	午後	オリエンテーション 15:00~18:05 (那覇空港国内線1階ミーティングルームA・B) <ul style="list-style-type: none"> ●開催趣旨、交流事業の説明 : 沖縄県 ●交流基本方針の説明 : 沖縄県 ●沖縄県の取り組み : 沖縄県 ●上海・福建民間団体の取り組み : 上海仁渡海洋交益友展中心 福建省環保志願者協會 ●台湾政府・民間団体の取り組み : 新北市、花蓮県、台湾民間団体
		歓迎会 18:45~20:00 (那覇空港国内線1階ミーティングルームA・B)
2/11 (土)	午前	オリエンテーション 9:15~10:05 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター) <ul style="list-style-type: none"> ●漫湖水鳥・湿地センターの紹介 : 漫湖水鳥・湿地センター ●沖縄県民間団体の取り組み : 漫湖水鳥・湿地センター
		ワークショップ 10:05~12:30 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター) <ul style="list-style-type: none"> ●モニタリング手法の検討と環境教育・普及啓発への活用 <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査項目（ペットボトル、レジ袋、発泡スチロール）の環境教育への活用方法の検討 ・プラットフォームでのデータ入力フォーマットの検討 ・モニタリング手法の検討（野帳案をもとにした手法の検討）
	昼 食 (12:30~13:30)	
	午後	合同海岸調査 13:30~14:30 (国場川 河口付近) <ul style="list-style-type: none"> ●モニタリング手法の検討のための合同海岸調査 野帳案の再検討 14:30~16:00 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター) <ul style="list-style-type: none"> ●野帳の再検討

日 程		開 催 内 容
2/12 (日)	午前	ワークショップ 9:15~12:00 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター) ●他業界への働きかけに向けた検討 ・「他業界への働きかけ」についての意見交換
		昼 食 (12:00~13:00)
	午後	全体協議 13:00~15:00 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター) ・今後の交流事業の展開について ・2017年交流事業の感想

5 実施内容

5.1 海岸見学とオリエンテーション・歓迎会（2月10日）

5.1.1 海岸見学（希望者のみ）

沖縄県の海岸漂着物の現状を知るため、沖縄県本部町新里地区新里地先の海岸の見学を行います。

5.1.2 オリエンテーションと歓迎会

沖縄県より開催趣旨、交流事業の説明と、沖縄県のこれまでの取り組みの紹介、上海、福建、台湾からの参加各団体の紹介を行います。

オリエンテーション後には交流を深めるための歓迎会を実施します。

5.2 モニタリング手法に関するワークショップと合同海岸調査（2月11日）

5.2.1 ワークショップと合同海岸調査

内 容	モニタリング調査結果の環境教育への活用方法を検討し、必要なデータの種類の抽出とモニタリング調査手法の検討を行い、モニタリング手法を決定する。また、手法の確認のための合同海岸調査を実施する。
方 法	●モニタリング結果の活用方法について ⇒モニタリング調査結果の活用案の検討 ●モニタリング手法の検討 ⇒必要なデータの種類（海岸漂着物の数、量等）、調査手法の検討 ●合同海岸調査 ⇒調査手法の確認・野帳の作成

5.3 ワークショップと交流事業の今後の展開について（3日目）

「他業界への働きかけ」

内 容	交流事業のなかでの「他業界への働きかけ」の実施に向けた取り組みについて、意見交換を行う。
方 法	●「他業界への働きかけ」についての意見交換

「交流事業の今後の展開について」

内 容	交流事業の今後の展開について意見交換を行い、ロードマップの改訂に反映する。
方 法	●交流事業の今後の展開についての意見交換

6 その他

6.1 (空路で参加される方のみ) 出発について

- (空路で参加される方のみ) 事前に E-ticket (印刷したもの) を送付いたしますので、確認の上、各自ご搭乗ください。

6.2 海岸見学について (2月10日) (希望者のみ)

見学場所：沖縄県本部町新里地区 新里地先の海岸

集 合：(県庁から乗車される方) 沖縄県庁前 7:50 集合

(宿泊される方) 東横イン那覇新都心おもろまち フロント前 7:50 集合

行 程：

時 間	行 程
7:50	東横イン那覇新都心おもろまち フロント前集合
8:00	バスに乗車、ホテル出発
10:00	見学場所到着 海岸見学
11:00	昼食・休憩
12:00	バスに乗車、昼食会場出発
14:30	オリエンテーション会場 (那覇空港) 到着

- ホテル～見学場所～オリエンテーション会場まではバスで送迎します。
- 簡単な回収作業をします。熱中症対策をした動きやすい服装でご参加ください。
- 昼食は事務局が用意します。
- 集合場所までの交通費(航空券代を除く)、駐車場代、高速代、宿泊費等の諸費用は、各自ご負担ください。

住所：沖縄県本部町新里地区 新里地先の海岸



6.3 オリエンテーション・歓迎会について（2月10日）

- 2/10（金）15：00から那覇空港内ミーティングルームにおいて、オリエンテーションを開催します。14：50までに会場に集合してください。

会場：那覇空港国内線旅客ターミナル1階到着ロビー北側ミーティングルーム（A・B）

- 昼食はオリエンテーション開始までに各自お済ませください。空路で参加される方はできるだけ那覇空港内で昼食をお済ませください。
- 那覇空港を離れる場合には事務局にお声掛けください。
- 会場には12時から入場可能です。会場内に荷物を置くことができます。また、飲食が可能なので、購入した昼食を会場内で食べることができます（ごみは各自でお持ち帰りください）。
- 歓迎会は、オリエンテーション終了後に同じ会場で行います。18：40までに会場に集合してください。
- 歓迎会では軽食をご用意します。
- （自家用車で参加される方のみ）那覇空港駐車場をご利用ください。出庫時に領収書をお受け取りになり、期間中（2/11～12）に事務局にお渡しください。精算いたします。



6.4 ワークショップ・合同海岸調査について (2/11~2/12)

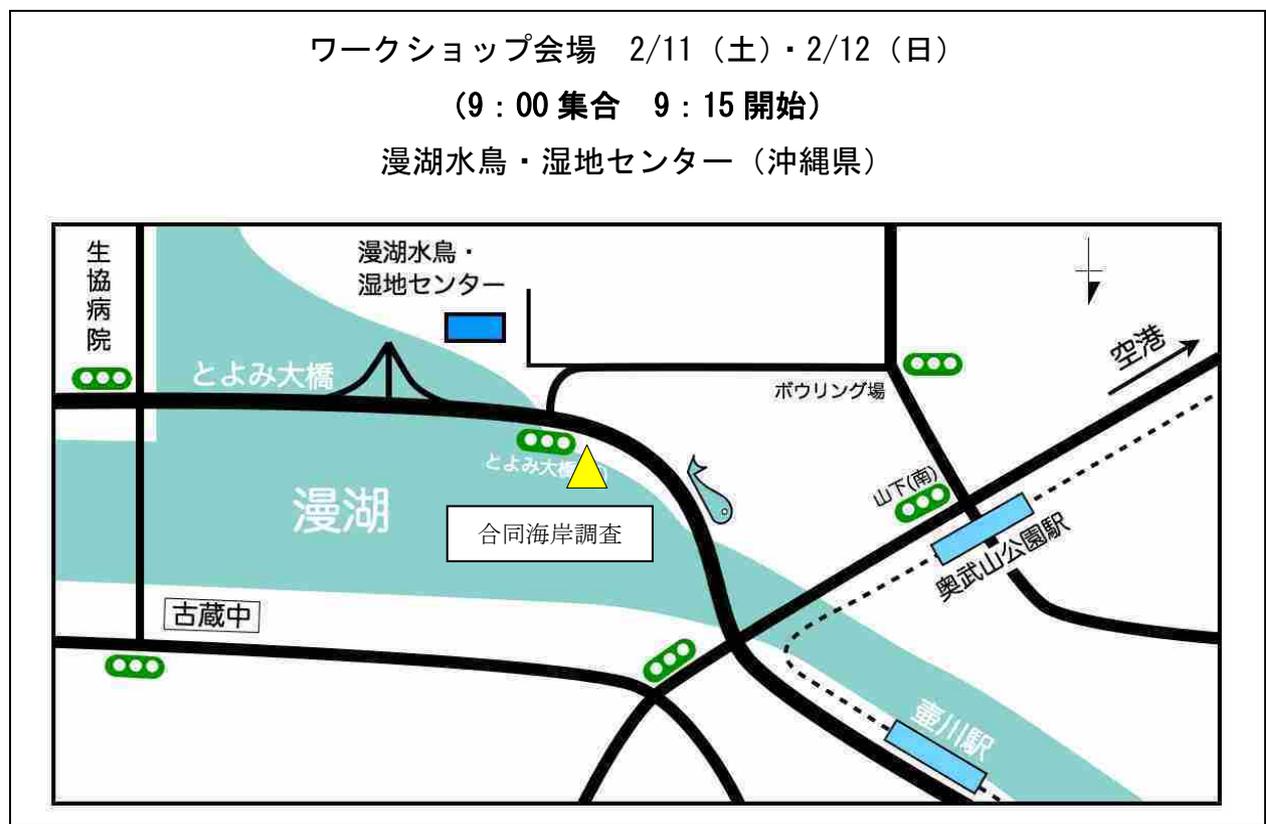
- (宿泊される方のみ) ワークショップ会場まで乗合でタクシーをご利用いただき、漫湖水鳥・湿地センターまで移動してください。所要時間は 20 分程度です。集合場所及び時間は以下のとおりです。

集合場所：東横イン那覇新都心おもろまち フロント前
集合時間 2月11日 8:40
2月12日 8:40
集合場所：漫湖水鳥・湿地センター (沖縄県豊見城市字豊見城 982)
集合時間 2月11日 9:00
2月12日 9:00

- (自家用車で参加される方のみ) 漫湖水鳥・湿地センターに直接ご来場ください。漫湖水鳥・湿地センター駐車場 (無料) をご利用ください。

集合場所：漫湖水鳥・湿地センター (沖縄県豊見城市字豊見城 982)
集合時間 2月11日 9:00
2月12日 9:00

- 合同海岸調査は、漫湖水鳥・湿地センターより徒歩で移動します (地図▲印)。



6.5 マスコミの同行、写真等の掲載について

- 当日はマスコミが同行し、取材する可能性があります。撮影、掲載等に不都合のある方は事前に事務局までご連絡ください。

6.6 (宿泊される方のみ) 宿泊施設情報

東横イン那覇新都心おもろまち	
住所	沖縄県那覇市おもろまち1丁目2-27
URL	http://toyoko-inn-omoromachi.com/
TEL/FAX	098-863-1045 / 098-863-1044
アクセス	沖縄都市モノレール(ゆいレール)おもろまち駅下車、徒歩7分
周辺地図	
朝食	あり (6:30~9:00)

6.7 持ち物

- 印鑑（謝金及び交通費精算時に必要となります）
- 雨具（雨合羽の上下） ※（2/10 海岸見学用）2/11 合同海岸調査用
- 帽子（熱中症対策のため、必ずお持ちください）
※（2/10 海岸見学用）2/11 合同海岸調査用
- 動きやすい靴（干潮時に行くため、水中には入りません。）
※（2/10 海岸見学用）2/11 合同海岸調査用
- サングラス（必要な場合） ※（2/10 海岸見学用）2/11 合同海岸調査用
- （宿泊される方のみ）航空券（E-ticket）、着替え、洗面用具、常備薬等、宿泊滞在に各自必要なもの
- アンケート用紙「モニタリング手法の検討のためのアンケート」
※2/11 ワークショップにて使用。アンケート用紙にご記入の上、お持ちください。
- （準備可能な場合）団体の紹介資料（ポスター・印刷物等）
- 海外交流事業期間中（2/10～12）は食事と飲み物を事務局で用意します。ごみ削減のため、マイ箸、マイボトル（又はマイカップ）をご持参ください。

6.8 諸費用について

- 謝金及び旅費は沖縄県の規定に従ってお支払いいたします。
- （自家用車で参加される方のみ）2/10 オリエンテーション等参加のため、那覇空港駐車場を利用された場合、出庫時に領収書をお受け取りになり、期間中（2/11～12）に事務局にお渡しください。精算いたします。
※2/11～12 会場の「漫湖水鳥・湿地センター」駐車場は無料です。
- （宿泊される方のみ）2/10～12 の宿泊費は事務局が精算いたします。ただし、ホテルで使用された外線電話、ルームサービス等の利用料金については、個人負担となりますので、各自チェックアウト時にお支払いください。
- （宿泊される方のみ）ホテルの朝食をご利用ください（無料）。2/11、2/12 の昼食は事務局で用意いたします。それ以外の食事は各自でお済ませください。
- （空路で参加される方のみ）出発空港の駐車場を利用された場合、お帰りの際に領収書をお受け取りください。後日精算いたします。 精算方法は改めてご連絡いたします。

6.9 緊急連絡先について

- 期間中（2/10～12）の緊急時には下記まで、ご連絡ください。

日本エヌ・ユー・エス株式会社

野上大介 携帯① 080-9809-3891

携帯② 090-1800-6707

後藤澄江 携帯 090-8034-1893

2017 年 東亞地區海洋垃圾對策交流事務概要

<目 錄>

1 目的	1
2 參加對象團體	1
3 實施項目	2
4 行程表	4
5 實施內容	5
6 其他	6

1 目的

於 2015 年舉行的「沖繩・台灣海漂物對策交流事務」，由沖繩縣與台灣的行政單位以及民間非營利團體（以下 NPO 團體）參加，並針對海洋垃圾問題依不同主題討論出沖繩縣與台灣各地區能共同合作努力推行的方案。雙方還對處理海洋垃圾問題取得合作的共識。於 2016 年持續的交流中，針對海洋垃圾的現狀、課題、對策與台灣的行政單位及民間 NPO 團體進行交換意見，共同執行了海岸垃圾監測調查與檢討，並在環境保護教育的議題上進行資訊分享。

今年度，沖繩縣擴大交流對象邀請了上海、福建加入本事務並針對東亞地區的海洋漂流垃圾的現狀與問題癥結及解決方案進行資訊分享，意見交換與對策的研議等事務進行交流。本交流事務的目的在於把交流的成果反映至相關地區的環保教育與普及啟蒙等活動上，進而達成減少海洋垃圾產生的效果，希望各參與交流的地區都能實惠均霑、分享活動的成果。

2 參加對象團體

2017 年的交流事務參加團體如下。來自沖繩有沖繩縣環境部環境整備課、沖繩縣海洋垃圾產生減量對策 Working Group 成員；來自台灣則有新北市、台灣清淨海洋行動聯盟（以下, TOCA）等去年已參與的團體。另外，今年又新加入了來自上海與福建的行政單位人員與民間團體與會。

表 1 參加對象團體

地區	相關人員・相關團體	參加人數
沖繩	沖繩縣 環境部 環境整備課	4 人
	沖繩縣抑制海洋垃圾產生對策 Working Group 成員	11 人
台灣	新北市政府 環境保護局	1 人
	花蓮縣政府 環境保護局	1 人
	TOCA（台灣清淨海洋行動聯盟、6 個加盟團體）	8 人
上海	上海仁渡海洋交益友展中心	2 人
福建	福建省環保志願者協會	3 人

事業支援：公益財團法人 沖繩縣產業振興公社

3 實施項目

於 2015 年的交流事務中，依下列主題類別討論出兩地區想要共同努力推行的方案。各主題的主要方案如圖 1 所示。

1.調查・研究	2.減少陸地上產生的垃圾
<ul style="list-style-type: none"> ●共同實施監控調查及共享資訊 ●與鄰近各國共享資訊 ●實施微小垃圾調查及共享資訊 	<ul style="list-style-type: none"> ●減少觀光業的垃圾 ●沖繩與台灣學生交流（海漂垃圾觀察行程） ●對非分解性產品課稅 ●向媒體宣傳 ●呼籲削減過度包裝
3.環境教育	4.持續並擴大淨灘活動
<ul style="list-style-type: none"> ●建立沖繩・台灣交流網站 ●沖繩・台灣交流計畫 『永保美麗海洋』 ●沖繩・台灣 夢之郵輪 	<ul style="list-style-type: none"> ●同日進行淨灘活動 ●舉辦具主題性的淨灘活動 ●舉辦海 LOVE in 台灣（海漂垃圾回收活動） ●向行政單位提議給予實施淨灘活動的企業相關獎勵

[由 2014 年度海外交流事業實施概要（日語版）製作]

第 1 圖 2015 年沖繩・台灣海洋垃圾對策交流事務 由共同課題中選出方案

於 2016 年的交流事務中，針對第 1 圖的「1. 海洋垃圾的調查・研究」跟「3. 環境教育」兩個主題在減少垃圾的產生上具體的對策進行協調、討論之後得到以下 3 點結論。

- ① 沖繩・台灣雙方以相同的方式進行海灘廢棄物監測調查。
- ② 海灘廢棄物監測調查的項目中，針對寶特瓶，塑膠購物袋，保麗龍做重點整理之後把改成果運用於推廣環保教育與普及啟蒙。
- ③ 建立海灘廢棄物監測調查的結果與環境教育的案例的[分享平台（網頁）](#)

2017 年的交流事務將針對上述之海灘廢棄物監測調查做出定案並對分享平台另的內容進行討論。同時，針對圖 1 的「2. 減少陸地上產生的垃圾」議題的策略方向，討論「向其他產業團體推廣減少垃圾的概念」的可行性。

第 2 表 2017 年東亞地區海洋垃圾對策交流事務 實施項目

課 題	目 的	實施內容
調查・研究	由沖繩、台灣以及中國實施共同海灘廢棄物監測活動，並將調查數據活用於環境教育與減少垃圾產生的推廣活動上。	<ul style="list-style-type: none"> ●有關於海灘廢棄物監測調查結果的利用方法 ⇒海灘廢棄物監測調查結果的活用案例的檢討 ●有關於海灘廢棄物監測調查方法 ⇒需要的數據種類（海洋垃圾的件數、數量等）、探討調查手法 ●實施共同海岸調查 ⇒利針對調查手法進行確認與意見交換
環境教育		<ul style="list-style-type: none"> ●分享平台（網頁）的建立
普及啟蒙	針對「向其他產業團體的推廣」的討論	<ul style="list-style-type: none"> ●「向其他產業團體的推廣」的資訊交換

4 行程表

月 日		活 動 內 容
2017 年 2/10 (Fri)	上午	海岸勘查 8:00~14:30 (沖繩縣本部町新里地區 周辺海岸)
	下午	事前說明會 15:00~18:20 (那霸機場國內線航廈 1 樓入境大廳北側會議室(A・B)) <ul style="list-style-type: none"> ●舉辦主旨，交流事務的說明 : 沖繩縣 ●交流基本方針的提案 : 沖繩縣 ●沖繩縣推行中的計畫 : 沖繩縣 ●上海・福建的活動簡報 : 上海仁渡海洋交益友展中心 福建省環保志願者協會 ●台灣的活動簡報 : 台灣行政單位 台灣民間團體
		歡迎會 18:45~20:00 (那霸機場國內線航廈 1 樓入境大廳北側會議室(A・B))
2/11 (Sat)	上午	事前說明會 9:15~10:05 (豐見城市 漫湖水鳥・濕地活動中心) <ul style="list-style-type: none"> ●介紹漫湖水鳥・濕地活動中心 : 漫湖水鳥・濕地活動中心 ●沖繩縣民間團體的活動報告 : 沖繩回收運動市民之友會
		研討會 10:05~12:30 (豐見城市 漫湖水鳥・濕地活動中心) <ul style="list-style-type: none"> ●海灘廢棄物監測調查手法的討論暨環保教育與普及啟蒙的運用 <ul style="list-style-type: none"> ・海灘廢棄物監測調查項目(寶特瓶，塑膠袋，保麗龍)在於環保教育之運用實際案例 ・平台上的數據輸入格式的討論 ・海灘廢棄物監測手法的檢討(依野外記錄手法做討論)
	中 餐 (12:30~13:30)	
	下午	共同海岸勘查與野外記錄方式的再檢討 13:30~14:30 (國場川 河口附近) <ul style="list-style-type: none"> ●提供海灘廢棄物監測調查手法討論之共同海岸勘察
		野外記錄方式的再檢討 14:30~16:00 (豐見城市 漫湖水鳥・濕地活動中心) <ul style="list-style-type: none"> ●野外記錄方式的再檢討
2/12 (Sun)	上午	研討會 9:00~12:00 (豐見城市 漫湖水鳥・濕地活動中心) <ul style="list-style-type: none"> ●關於向其它產業團體推廣本交流事務的討論 <ul style="list-style-type: none"> ・「向其它產業團體的推廣」的案例紹介
		休 息 (12:00~13:00)
	下午	整體協調會 13:00~15:00 (豐見城市 漫湖水鳥・濕地中活動心) <ul style="list-style-type: none"> ・有關於爾後交流事務的展望 ・對於 2017 年交流事務的感想

5 實施內容

5.1 海岸勘查與事前說明會（2月10日）

5.1.1 海岸勘查

為了了解漂流至沖繩縣的海洋垃圾的實際狀況，特別安排參觀「沖繩縣本部町新里地區新里地周邊的海岸」的實地勘查。

5.1.2 開幕式・歡迎會

由主辦單位沖繩縣說明舉辦主旨，交流事務的目的與介紹沖繩縣的在海洋垃圾對策執行的成效，並介紹來自各地區的團體。

事前說明會後，將舉行歡迎會以增加交流深度。

5.2 海灘廢棄物監測手法的 Workshop 與共同海岸勘察（2月11日）

5.2.1 Workshop 與共同海岸勘察

內 容	針對海灘廢棄物監測調查結果在環境教育上的活用方式做檢討，進而篩選出需要的數據種類與討論調查手法之後，確立海灘廢棄物監測手法。另，實施共同海岸勘查以確認前述的手法。
方 法	●有關於海灘廢棄物監測調查結果的利用方法 ⇒海灘廢棄物監測調查結果的活用案例的檢討 ●有關於海灘廢棄物監測調查方法 ⇒需要的數據種類（海洋垃圾的件數、數量等）、 ●實施共同海岸調查 ⇒利針對調查手法進行確認與意見交換

5.3 「向其它產業團體推廣」Workshop 與本交流事務的展望（2月12日）

「向其它產業團體推廣」

內 容	針對本交流事務裡的「向其他產業團體的推廣」的策略，做意見交換與經驗分享
方 法	●針對「向其他產業團體的推廣」的意見交換

「本交流事務的展望」

內 容	針對本交流事務的展望做意見交換與討論，並對交流事務的規劃做修改
方 法	●針對「交流事務的展望」的意見交換

6 其他

6.1 出發

- 機票：電子機票會用 e-mail 傳送給各位相關人員，請確認後自行列印攜帶。

6.2 海岸勘查（2月10日）

參觀地點：沖繩縣本部町新里地區的新里地周辺海岸

集合地點：7:50 於「東橫 INN 那霸新都心おもろまち」飯店門口前集合

行程：

時間	行程
7:50	「東橫 INN 那霸新都心おもろまち」前集合
8:00~10:00	從飯店出發至勘查的海岸
10:00~11:00(60分鐘)	於沖繩縣本部町新里地區的新里地海岸勘查
11:15~12:15	中餐
12:15~14:30	前往事前說明會會場

- 從勘查海岸地點至開幕式會場之間的移動有主辦單位安排的巴士接駁。
- 因為要進行簡單的廢棄物回收，當天請作好防曬並穿輕便寬鬆的服裝來參加。
- 中餐由主辦單位提供

開幕式・歡迎會（2月10日）

- 2/10（Fri）15:00 於那霸機場第一航廈的會議室舉行本次交流會的開幕式，請在 14:50 之前至事前說明會會場集合。

會場：那霸機場國內線第一航廈1樓入境廳北側會議室（A・B）

- 歡迎會將在事前說明會之後於同會場舉行。請在 18:40 之前至事前說明會會場集合。
- 歡迎會上將提供簡便餐點。



6.3 Workshop・共同海岸勘查（2月11日～2月12日）

- 從飯店搭乘接駁巴士至 Workshop 會場。

集合地點：「東横 INN 那霸新都心おもろまち」飯店門口前集合
集合時間 2月11日 8:40
2月12日 8:40

- 共同海岸勘查將從漫湖水鳥・濕地中心直接徒步至勘查地點。



6.4 有關媒體的採訪・攝影等

- 開幕式與 Workshop 當日有相關的報社與大眾傳播媒體會到場做採訪。採訪的結果將會刊登在報紙，網頁 HP 等。在此先行告知敬請諒解與包涵。如不便接受拍攝或刊登照片，請事先與事務局聯絡。

6.5 住宿資訊

Toyoko Inn Okinawa Naha Shintoshin Omoromachi 東横 INN 那覇新都心おもろまち	
地址	沖縄県那覇市おもろまち1丁目2-27
HP	http://www.toyoko-inn.com/hotel/00099/index.html
TEL/FAX	098-863-1045 / 098-863-1044
交通	沖縄都市モノレール（ゆいレール）おもろまち駅下車、徒歩7分
週邊地圖	
早餐	附早餐（6：30～9：00）

6.6 攜帶物品

- 雨具（雨衣）
- 帽子
- 便於行動的鞋子 ※2/11 共同海岸勘查時用（活動時間為退潮時分，故不會下水）
- 禦寒衣物
- 攜帶物品（除了換洗衣物，盥洗用具，日常藥品等參訪期間各自需要物品之外）
- 問卷調查表「海灘廢棄物監測手法檢討用的問卷調查表」
※2/11 Workshop 時使用。請填好問卷帶至會場已備使用。
- 團體的介紹資料（海報或印刷物）
- 2/10 的歡迎會，2/11 與 2/12 的 Workshop 時的餐飲由主辦單位準備。為減少垃圾的產生請自帶餐具蒞臨



6.7 有關於其他費用

- 2/10 至 2/12 的住宿費由主辦單位負責結算。但，於飯店使用的個人外線電話，客房服務等的費用請再退房時自行結清。
- 飯店有提供免費的早餐，2/11、2/12 的中餐由主辦單位準備，除此之外的餐飲請自行處理。

6.8 緊急連絡方式

- 海外交流事務期間如有緊急事務須連絡處理時，請以下面的負責人員聯絡。

日本 NUS 株式会社

野上大介 手機① 080-9809-3891

手機② 090-1800-6707

後藤澄江 手機 090-8034-1893

策交流事务概要

<目 錄>

1 目的	1
2 参加对象团体	1
3 实施项目	2
4 行程表	4
5 实施内容	5
6 其他	6

1 目的

于 2015 年举行的「冲绳・台湾海漂物对策交流事务」，由冲绳县与台湾的行政单位以及民间非营利团体（以下 NPO 团体）参加，并针对海洋垃圾问题依不同主题讨论出冲绳县与台湾各地区能共同合作努力推行的方案。双方还对处理海洋垃圾问题取得合作的共识。于 2016 年持续的交流中，针对海洋垃圾的现状、课题、对策与台湾的行政单位及民间 NPO 团体进行交换意见，共同执行了海岸垃圾监测调查与检讨，并在环境保护教育的议题上进行信息分享。

今年度，冲绳县扩大交流对象邀请了上海、福建加入本事务并针对东亚地区的海洋漂流垃圾的现状与问题症结及解决方案进行信息分享，意见交换与对策的研议等事务进行交流。本交流事务的目的在于把交流的成果反映至相关地区的环保教育与普及启蒙等活动上，进而达成减少海洋垃圾产生的效果，希望各参与交流的地区都能实惠均沾、分享活动的成果。

2 参加对象团体

2017 年的交流事务参加团体如下。来自冲绳有冲绳县环境部环境整備课、冲绳县海洋垃圾产生减量对策 Working Group 成员；来自台湾则有新北市、台湾清淨海洋行动联盟（以下, TOCA）等去年已参与的团体。另外，今年又新加入了来自上海与福建的行政单位人员与民间团体与会。

表 1 参加对象团体

地区	相关人员・相关团体	参加人数
冲绳	冲绳县 环境部 环境整備课	4 人
	冲绳县抑制海洋垃圾产生对策 Working Group 成员	11 人
台湾	新北市政府 环境保护局	1 人
	花莲县政府 环境保护局	1 人
	TOCA (台湾清净海洋行动联盟、6 个加盟团体)	8 人
上海	上海仁渡海洋交益发展中心	2 人
福建	福建省环保志愿者协会	3 人

事业支持：公益财团法人 冲绳县产业振兴公社

3 实施项目

于 2015 年的交流事务中，依下列主题类别讨论出两地区想要共同努力推行的方案。各主题的主要方案如图 1 所示。

1.调查・研究	2.减少陆地上产生的垃圾
<ul style="list-style-type: none"> ●共同实施监控调查及共享信息 ●与邻近各国共享信息 ●实施微小垃圾调查及共享信息 	<ul style="list-style-type: none"> ●减少观光业的垃圾 ●冲绳与台湾学生交流（海漂垃圾观察行程） ●对非分解性产品课税 ●向媒体宣传 ●呼吁削减过度包装
3.环境教育	4.持续并扩大净滩活动
<ul style="list-style-type: none"> ●建立冲绳・台湾交流网站 ●冲绳・台湾交流计划 『永保美丽海洋』 ●冲绳・台湾 梦之邮轮 	<ul style="list-style-type: none"> ●同日进行净滩活动 ●举办具主题性的净滩活动 ●举办海 LOVE in 台湾（海漂垃圾回收活动） ●向行政单位提议给予实施净滩活动的企业相关奖励

[由 2014 年度海外交流事业实施概要（日语版）制作

第 1 图 2015 年冲绳・台湾海洋垃圾对策交流事务 由共同课题中选出方案

于 2016 年的交流事务中，针对第 1 图的「1. 海洋垃圾的调查・研究」跟「3. 环境教育」两个主题在减少垃圾的产生上具体的对策进行协调、讨论之后得到以下 3 点结论。

- ① 冲绳・台湾双方以相同的方式进行海滩废弃物监测调查。
- ② 海滩废弃物监测调查的项目中，针对**塑料瓶，塑料购物袋，聚氯乙烯塑料泡沫**做重点整理之后把改成果运用于推广环保教育与普及启蒙。
- ③ 建立海滩废弃物监测调查的结果与环境教育的案例的**分享平台（网页）**

2017 年的交流事务将针对上述之海滩废弃物监测调查做出定案并对分享平台另的内容进行讨论。同时，针对图 1 的「2. 减少陆地上产生的垃圾」议题的策略方向，讨论「向其他产业团体推广减少垃圾的概念」的可行性。

第2表 2017年东亚地区海洋垃圾对策交流事务 实施项目

课 题	目 的	实施内容
调查・研究	由冲绳、台湾以及中国实施共同海滩废弃物监测活动，并将调查数据活用于环境教育与减少垃圾产生的推广活动上。	<ul style="list-style-type: none"> ● 有关于海滩废弃物监测调查结果的利用方法 ⇒ 海滩废弃物监测调查结果的活用案例的检讨 ● 有关于海滩废弃物监测调查方法 ⇒ 需要的数据种类（海洋垃圾的件数、数量等）、探讨调查手法 ● 实施共同海岸调查 ⇒ 利针对调查手法进行确认与意见交换
环境教育		<ul style="list-style-type: none"> ● 分享平台（网页）的建立
普及启蒙	针对「向其他产业团体的推广」的讨论	<ul style="list-style-type: none"> ● 「向其他产业团体的推广」的信息交换

4 行程表

月 日		活 动 内 容
2017年 2/10 (Fri)	上午	海岸勘查 8: 00~14: 30 (冲绳县本部町新里地区 周边海岸)
	下午	事前说明会 15: 00~18: 20 (那霸机场国内线航厦 1 楼入境大厅北侧会议室(A·B)) <ul style="list-style-type: none"> ●举办主旨, 交流事务的说明 : 冲绳县 ●交流基本方针的提案 : 冲绳县 ●冲绳县推行中的计划 : 冲绳县 ●上海·福建的活动简报 : 上海仁渡海洋交益友展中心 福建省环保志愿者协会 ●台湾的活动简报 : 台湾行政单位 台湾民间团体
		欢迎会 18: 45~20: 00 (那霸机场国内线航厦 1 楼入境大厅北侧会议室(A·B))
2/11 (Sat)	上午	事前说明会 9: 15~10: 05 (豊见城市 漫湖水鸟·湿地活动中心) <ul style="list-style-type: none"> ●介绍漫湖水鸟·湿地活动中心: 漫湖水鸟·湿地活动中心 ●冲绳县民间团体的活动报告 : 冲绳回收运动市民之友会
		研讨会 10: 05~12: 30 (豊见城市 漫湖水鸟·湿地活动中心) <ul style="list-style-type: none"> ●海滩废弃物监测调查手法的讨论暨环保教育与普及启蒙的运用 <ul style="list-style-type: none"> ·海滩废弃物监测调查项目(塑料瓶, 塑料购物袋, 聚氯乙烯塑料泡沫)在于环保教育之运用实际案例 ·平台上的数据输入格式的讨论 ·海滩废弃物监测手法的检讨(依野外记录手法做讨论)
	中 餐 (12: 30~13: 30)	
	下午	共同海岸勘查与野外记录方式的再检讨 13: 30~14: 30 (国场川 河口附近) <ul style="list-style-type: none"> ●提供海滩废弃物监测调查手法讨论之共同海岸勘察
		野外记录方式的再检讨 14: 30~16: 00 (豊见城市 漫湖水鸟·湿地活动中心) <ul style="list-style-type: none"> ●野外记录方式的再检讨
2/12 (Sun)	上午	研讨会 9: 00~12: 00 (豊见城市 漫湖水鸟·湿地活动中心) <ul style="list-style-type: none"> ●关于向其它产业团体推广本交流事务的讨论 <ul style="list-style-type: none"> ·「向其它产业团体的推广」的案例介绍
		休 息 (12: 00~13: 00)
	下午	整体协调会 13: 00~15: 00 (豊见城市 漫湖水鸟·湿地中活动中心) <ul style="list-style-type: none"> ·有关于尔后交流事务的展望 ·对于 2017 年交流事务的感想

5 实施内容

5.1 海岸勘查与事前说明会（2月10日）

5.1.1 海岸勘查

为了了解漂流至冲绳县的海洋垃圾的实际状况，特别安排参观「冲绳县本部町新里地区新里地周边的海岸」的实地勘查。

5.1.2 开幕式・欢迎会

由主办单位冲绳县说明举办主旨，交流事务的目的与介绍冲绳县的在海洋垃圾对策执行的成效，并介绍来自各地区的团体。

开幕式说明会后，将举行欢迎会增加交流深度。

5.2 海滩废弃物监测手法的 Workshop 与共同海岸勘察（2月11日）

5.2.1 Workshop 与共同海岸勘察

内 容	针对海滩废弃物监测调查结果在环境教育上的活用方式做检讨，进而筛选出需要的数据种类与讨论调查手法之后，确立海滩废弃物监测手法。另，实施共同海岸勘查以确认前述的手法。
方 法	<ul style="list-style-type: none">● 有关于海滩废弃物监测调查结果的利用方法 ⇒ 海滩废弃物监测调查结果的活用案例的检讨● 有关于海滩废弃物监测调查方法 ⇒ 需要的数据种类（海洋垃圾的件数、数量等）、● 实施共同海岸调查 ⇒ 利针对调查手法进行确认与意见交换

5.3 「向其它产业团体推广」Workshop 与本交流事务的展望（2月12日）

「向其它产业团体推广」

内 容	针对本交流事务里的「向其他产业团体的推广」的策略，做意见交换与经验分享
方 法	● 针对「向其他产业团体的推广」的意见交换

「本交流事务的展望」

内 容	针对本交流事务的展望做意见交换与讨论，并对交流事务的规划做修改
方 法	● 针对「交流事务的展望」的意见交换

6 其他

6.1 出发

○ 机票：电子机票会用 e-mail 传送给各位相关人员，请确认后自行打印携带。

6.2 海岸勘查（2月10日）

参观地点：冲绳县本部町新里地区的新里地周边海岸

集合地点：7:50 于「东横 INN 那霸新都心おもろまち」饭店门口前集合

行程：

时 间	行 程
7: 50	「东横 INN 那霸新都心おもろまち」前集合
8: 00~10: 00	从饭店出发至勘查的海岸
10: 00~11: 00(60 分钟)	于冲绳县本部町新里地区的新里地海岸勘查
11: 15~12: 15	中餐
12: 15~14: 30	前往事前说明会会场

- 从勘查海岸地点至开幕式会场之间的移动有主办单位安排的巴士接驳。
- 中餐由主办单位提供

6.3 开幕式・欢迎会（2月10日）

- 2/10（Fri）15:00 于那霸机场第一航厦的会议室举行本次交流会的开幕式，请在 14:50 之前至事前说明会会场集合。

会场：那霸机场国内线第一航厦1楼入境厅北侧会议室（A・B）

- 欢迎会将在事前说明会之后于同会场举行。请在 18:40 之前至事前说明会会场集合。
- 欢迎会上将提供简便餐点。



6.4 Workshop・共同海岸調査（2月11日～2月12日）

- 从饭店搭乘接驳巴士至 Workshop 会场。

集合地點：「東横 INN 那覇新都心おもろまち」飯店門口前集合
集合時間 2月11日 8:40
2月12日 8:40

- 共同海岸調査将从漫湖水鳥・湿地中心直接徒步至調査地点。



6.5 有关媒体的采访・摄影等

- 开幕式与 Workshop 当日有相关的报社与大众传播媒体会到场做采访。采访的结果将会刊登在报纸，网页 HP 等。在此先行告知敬请谅解与包涵。如不便接受拍摄或刊登照片，请事先与事务局联络。

6.6 住宿信息

Toyoko Inn Okinawa Naha Shintoshin Omoromachi 东横 INN 那霸新都心おもろまち	
地址	沖縄県那覇市おもろまち1丁目2-27
HP	http://www.toyoko-inn.com/hotel/00099/index.html
TEL/FAX	098-863-1045 / 098-863-1044
交通	沖縄都市モノレール（ゆいレール）おもろまち駅下車、徒歩7分
外圍地図 	
早餐	附早餐（6：30～9：00）

6.7 携带物品

- 雨具（雨衣）
- 帽子
- 便于行动的鞋子 ※2/11 共同海岸勘查时用（活动时间为退潮时分，故不会下水）
- 御寒衣物
- 携带物品（除了换洗衣物，盥洗用具，日常药品等参访期间各自需要物品之外）
- 问卷调查表「海滩废弃物监测手法检讨用的问卷调查表」
※2/11 Workshop 时使用。请填好问卷带至会场已备使用。
- 团体的介绍资料（海报或印刷物）
- 2/10 的欢迎会，2/11 与 2/12 的 Workshop 时的餐饮由主办单位准备。为减少垃圾的产生
请自带餐具莅临



6.8 有关于其他费用

- 2/9 至 2/12 的住宿费由主办单位负责结算。但，于饭店使用的个人外线电话，客房服务等费用请再退房时自行结清。
- 饭店有提供免费的早餐，2/11、2/12 的中餐由主办单位准备，除此之外的餐饮请自行处理。

6.9 紧急连络方式

- 海外交流事务期间如有紧急事务须连络处理时，请以下面的负责人员联络。

日本 NUS 株式会社

野上大介 手机① 080-9809-3891

手机② 090-1800-6707

后藤澄江 手机 090-8034-1893

東アジア地域漂着ごみ対策交流事業

East Asia Exchange Program On Marine Litter

2017年2月 那覇



西表島 中野海岸（沖縄県竹富町）



主催 沖縄県



目 次



はじめに	1
沖縄県那覇市における交流事業の概要	3
■行程表	3
■参加者名簿	5
2/10(金)の開催内容	
■ (希望者のみ)海岸見学	6
■ オリエンテーション・歓迎会	7
2/11(土)の開催内容	
■ワークショップ・合同海岸調査と野帳の再検討	9
2/12(日)の開催内容	
■ ワークショップ・全体協議	12
宿泊施設情報	13

はじめに

2017年に沖縄県が実施する 「東アジア地域漂着ごみ対策交流事業」

■ 開催目的

沖縄県は、平成21年度より国の補助金を活用し、海岸漂着ごみの状況把握のための調査、対策の検討、回収処理、発生抑制に係る普及啓発・環境教育等を進めております。

沖縄県内で見られる海岸漂着ごみは、その多くが海外由来であるものの、県内由来のものも含まれ、特に人口の多い地域では地元から発生したごみの割合が高くなる傾向にあります。したがって、海岸漂着ごみの発生抑制対策を進めていくためには、地域関係者の中で漂着状況とその対策方法を情報共有した上で、普及啓発・環境教育の取組推進が不可欠であり、更にはこれらを担う人材の育成と確保も必要になります。

また、海岸漂着物の問題は、県内だけの問題に留まらないことから、近隣諸国との情報共有と連携を踏まえた対策を進めることも有効であると思われまます。そこで沖縄県は、平成26・27年度に、沖縄県の近隣に位置する台湾の行政機関並びに民間団体と「沖縄・台湾漂着ごみ対策交流事業」を実施しました。

本年度は、これまでの交流対象の台湾に、上海、福建を加え、東アジア地域の海岸漂着物の現状、課題についての情報共有、意見交換や、対策の検討を行います。本事業は、交流事業の成果をそれぞれの環境教育や普及啓発等の活動に取り入れ、海岸漂着物の発生抑制対策を推進することを目的とします。

■ 開催内容

沖縄県那覇市において、2017年2月10日から12日まで、海岸漂着ごみ共同モニタリング調査の手法や環境教育・普及啓発への活用方法の検討と、海岸漂着物対策として「他業界への働きかけ」に関する検討をテーマとしたワークショップ、及び海岸漂着ごみの合同海岸調査を実施します。

■ 参加機関・団体

- 主催 沖縄県環境部環境整備課
- 沖縄県参加団体 沖縄県立芸術大学、一般社団法人 JEAN、那覇クリーンビーチクラブ、しかたに自然案内、久米島ホタルの会、漫湖自然環境保全連絡協議会、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会／NPO 法人美ら海振興会、沖縄リサイクル運動市民の会、NPO 法人宮古島 海の環境ネットワーク、石垣島沿岸レジャー安全協議会、海 LOVE ネットワーク事務局、石垣ビーチクリーンクラブ、NPO 法人西表島エコツーリズム協会、NPO 法人美ら海振興会／(株)パシフィック・ホスピタリティ・グループ、公益財団法人沖縄こどもの国（沖縄県地域環境センター）
- 台湾参加機関・団体 新北市政府環境保護局、新北市淡水區清潔隊、基隆市政府環境保護局環境管理科、花蓮縣環境保護局 台灣清淨海洋行動聯盟（T. O. C. A）
財團法人黑潮海洋文教基金會、社團法人中華民國荒野保護協會、社團法人台灣環境資訊協會、臺南市社區大學/海灘廢棄物監測社、國立海洋科技博物館、財團法人海洋公民基金會、福智淨塑推動小組、海湧工作室
- 上海参加団体 上海仁渡海洋公益发展中心
- 福建参加団体 福建省环保志愿者协会
- 事業支援 公益財団法人沖縄県産業振興公社 台北事務所・上海事務所・福州駐在所、漫湖・水鳥湿地センター
- 事業受託業者 日本エヌ・ユー・エス(株)・(株)沖縄環境保全研究所 共同企業体

■ 問い合わせ先

沖縄県環境部環境整備課

担当者 前川 龍太 TEL : 098-866-2231

日本エヌ・ユー・エス(株)・(株)沖縄環境保全研究所共同企業体

担当者 野上 大介 TEL : 080-9809-3891

沖縄県那覇市における交流事業の概要

(2017年2月10日～12日)

■ 行程表

日 程		開 催 内 容
2017年 2/10 (金)	午前	☆ 希望者のみ ☆ 海岸見学 8:00～14:30 (沖縄県本部町新里地区 新里地先の海岸)
	午後	オリエンテーション 15:00～18:20 (那覇空港国内線1階ミーティングルームA・B)
		<ul style="list-style-type: none"> ●開催趣旨、交流事業の説明 : 沖縄県 ●交流基本方針の説明 : 沖縄県 ●沖縄県の取り組み : 沖縄県 ●上海、福建の取り組み : 上海仁渡海洋公益发展中心 福建省环保志愿者协会 ●台湾の取り組み : 新北市、花蓮県 : 台湾民間団体 (2団体)
歓迎会 18:45～20:00 (那覇空港国内線1階ミーティングルームA・B)		
2/11 (土)	午前	オリエンテーション 9:15～10:05 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター)
		<ul style="list-style-type: none"> ●漫湖水鳥・湿地センターの紹介 : 漫湖水鳥・湿地センター ●沖縄県民間団体の取り組み : 漫湖自然環境保全連絡協議会 沖縄リサイクル運動市民の会
	ワークショップ 10:05～12:30 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター)	
	<ul style="list-style-type: none"> ●モニタリング手法の検討と環境教育・普及啓発への応用 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査項目 (ペットボトル、ビニール袋、発泡スチロール) の環境教育への応用例 ・プラットフォームでのデータ入力フォーマットの検討 ・モニタリング手法の検討 (野帳案をもとにした手法の検討) </div>	
昼 食 (12:30～13:30)		
午後	合同海岸調査 13:30～14:30 (國場川河口部分)	
	<ul style="list-style-type: none"> ●モニタリング手法の検討のための合同海岸調査 	
野帳の再検討 14:30～16:00 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター)		<ul style="list-style-type: none"> ●野帳の再検討

日 程		開 催 内 容
2/12 (日)	午前	<p>ワークショップ 9:00~12:00 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「他業界への働きかけ」の検討 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「他業界への働きかけ」に関する意見交換 </div>
		<p>昼 食 (12:00~13:00)</p>
	午後	<p>全体協議 13:00~15:00 (豊見城市 漫湖水鳥・湿地センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の交流事業の展開について ・ 2017年交流事業の感想

■ 参加者名簿（敬称略／順不同）

	所属	役職	氏名	NAME
1	沖縄県	沖縄県環境部	部長	大浜 浩志 Ohama Hiroshi
2		沖縄県環境部	環境企画統括監	棚原 憲実 Tanahara Norimi
3		沖縄県環境部環境整備課	課長	松田 了 Matsuda Satoru
4		沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班	班長	山内 努 Yamauchi Tsutomu
5		沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班	主任	前川 龍太 Maekawa Ryouta
6	沖縄 民間団体	（欠席）沖縄県立芸術大学	准教授	藤田 喜久 Fujita Yoshihisa
7		一般社団法人 JEAN	事務局長	小島 あずさ Kojima Azusa
8		那覇クリーンビーチクラブ	代表	具志頭 朝一 Gushikami Tomokazu
9		しかたに自然案内	代表	鹿谷 麻夕 Shikatani Mayu
10		（欠席）久米島ホテルの会	事務局長	佐藤 直美 Sato Naomi
11		漫湖自然環境保全連絡協議会	会員	池村 浩明 Ikemura Hiroaki
12		（欠席）沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 NPO法人 美ら海振興会	会員 理事	小菅 陽子 Kosuga Yoko
13		沖縄リサイクル運動市民の会	環境プロジェクト担当	眞喜志 敦 Makishi Atsushi
14		NPO法人 宮古島 海の環境ネットワーク	事務局長	春川 京子 Harukawa Kyoko
15		石垣島沿岸レジャー安全協議会	役員	大堀 健司 Ohori Kenji
16		海LOVEネットワーク事務局	実行委員長	笠原 利香 Kasahara Rika
17		石垣ビーチクリーンクラブ	代表	佐藤 紀子 Sato Noriko
18		NPO法人 西表島エコツーリズム協会	理事	徳岡 春美 Tokuoaka Harumi
19		NPO法人 美ら海振興会 株式会社パンフィック・ホスピタリティー・グループ	副会長 HR事業部部長	加藤 淳一 Kato Junichi
20	公益財団法人 沖縄こどもの国 （沖縄県地域環境センター）	こども未来課 沖縄県地域環境センター担当	比嘉 香織 Higa Kaori	
21	新北市	新北市淡水区清潔隊	隊長	李麗慧 Lee Li-Hui
22	花蓮縣	花蓮縣環境保護局	副局長	饒瑞玲 Jao Jui-Ling
23	台湾 民間団体	財団法人 黒潮海洋文教基金會	研究員	呂允中 Lu Yun-Chung
24		社団法人 中華民國荒野保護協會	海洋守護専員	胡介申 Hu Chieh-Shen
25		社団法人 台湾環境資訊協會	専案執行	陳姿蓉 Chen Zih-Rong
26		國立海洋科技博物館	展示教育組主任	陳麗淑 Chen Li-Shu
27		國立海洋科技博物館	展示教育組環境教育専職人員	許婉瑜 Hsu Wan-Yu
28		財団法人 海洋公民基金會	執行長	翁珍聖 Weng Chen-Sheng
29		福智淨塑推動小組	専案負責人	許靜娟 Hsu Jing-Juan
30		福智淨塑推動小組	専案負責人	駱貞羽 Lo Chen-Yu
31		海湧工作室	執行長	陳人平 Chen Ren-Ping
32		海湧工作室	副執行長	郭英 Kuo Fu
33	上海 民間団体	上海仁渡海洋公益发展中心	助理主任	茹懿 Ru Yi
34		上海仁渡海洋公益发展中心	研究助理	曹源 Cao Yuan
35	福建 民間団体	福建省环保志愿者协会	副会长	郑棣健 Zheng Dijian
36		福建省环保志愿者协会	副会长 环保法律咨询与公益诉讼委员会主任	閻小冬 Kan Xiaodong
37		福建省环保志愿者协会	传播与品牌建设专员	蓝玮薇 Lan Weiwei
38	事業支援	（欠席）公益財団法人 沖縄縣産業振興公社 台北事務所	所長	吉永 亮太 Yoshinaga Ryouta
39		（欠席）公益財団法人 沖縄縣産業振興公社 上海事務所・福州駐在所	主席代表（所長）	大濱 長健 Ohama Nagatake
40		（欠席）公益財団法人 沖縄縣産業振興公社 福州駐在所	副所長	張小云 Zhang Xiao Yun
41		（欠席）公益財団法人 沖縄縣産業振興公社 福州駐在所		黄知一 Huang Zhi Yi
42		漫湖水鳥・湿地センター	主査	長嶺 将範 Nagamine Masanori
43	事業 受託業者	日本エヌ・ユー・エス株式会社	沖縄事務所所長	野上 大介 Nogami Daisuke
44		日本エヌ・ユー・エス株式会社		後藤 澄江 Goto Sumie
45		日本エヌ・ユー・エス株式会社 / 通訳		江俊賢 Chiang Jing-Hsien
46		株式会社沖縄環境保全研究所環境事業部環境技術課	主査	佐々木 社 Sasaki Sho
47	通訳 Interpreter	アイコンサルティング株式会社		小橋川 耀華 Kobashigawa Youka
48		アイコンサルティング株式会社		王志英 Wang Zhiying
49		海洋危険生物研究会	代表幹事	新城 安哲 Araki Yasutetsu
50	オブザーバー Observer	琉球大学 文法学部 人文社会科学研究科 国際言語文化専攻		毛潔 MAO JIE
51		水中写真家 / 有限会社ちむちゅらさ	代表取締役	横井 謙典 Yokoi Kensuke
52	台湾企業股份有限公司	經理	卓大鈞 Cho Ta-Chun	
53	台湾メディア Media	聯合報		曾學仁 Tseng Hsueh-Jen
54		聯合報		賈實楠 Chia Pao-Nan
55		聯合報		游昌樺 Yu Chang-Hua
56		聯合報		徐宇威 Hsu Yu-Wei
57		聯合報（通訳）		張嘉芳 Chang Chia-Fang

2/10(金)の開催内容

- (希望者のみ) 海岸見学
- オリエンテーション
- 歓迎会

■ ☆希望者のみ☆海岸見学【2/10(金) 8:00~15:00】

① 集合

集合場所	<p><u>宿泊者：「東横イン那覇新都心おもろまち」フロント</u></p> <p style="text-align: center;"><u>集合 7:50</u></p>
注意	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホテルから会場までバスで移動します。 ○ オリエンテーション・歓迎会終了までホテルには戻りません。

② 会場

会場	<p>沖縄県本部町新里地区 新里地先の海岸</p> 
----	--

③ スケジュール

時間	内容
7:50	集合 (ホテル「東横イン那覇新都心おもろまち」フロント前)
8:00~10:00	海岸へ移動 ※バスでご案内します。
10:00~11:00 (60分)	海岸見学
11:15~12:15	昼食 ※バスでご案内します。
12:15~14:30	オリエンテーション・歓迎会会場まで移動 ※バスでご案内します。

■ オリエンテーション・歓迎会【2/10（金）15：00～20：00】

① 集合

集合場所	<p>那覇空港国内線旅客ターミナル1階北側ミーティングルーム(A・B)</p> <p>集合 14：50</p>
------	--

② 会場

会場	<p>那覇空港国内線旅客ターミナル1階（到着ロビー） 北側ミーティングルーム（A・B）</p>
施設案内	<p style="text-align: center;">那覇空港国内線旅客ターミナル1階 フロアマップ</p>
注意	<ul style="list-style-type: none"> ○（自家用車で参加される方のみ）那覇空港駐車場に駐車してください。 ○ 昼食はオリエンテーション開始までに各自お済ませください。空路で参加される方はできるだけ那覇空港内で昼食をお済ませください。那覇空港を離れる場合にはスタッフにお声掛けください。 ○ 会場には12時頃から入場可能です。会場内に荷物を置くことができます。また、飲食が可能なので、購入した昼食を会場内で食べるすることができます（<u>ごみは各自でお持ち帰りください</u>）。

③ プログラム（敬称略）

時間	内容
15:00 (5分)	開会 司会：山内 努（沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長）
15:05～15:15 (10分)	開会挨拶 大浜 浩志（沖縄県環境部 部長）
15:15～15:25 (10分)	参加者紹介 松田 了（沖縄県環境部環境整備課 課長）
15:25～15:35 (10分)	開催趣旨、交流事業の説明 松田 了（沖縄県環境部環境整備課 課長）
15:35～15:45 (10分)	1-1 交流基本方針の説明 前川 龍太（沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班 主任）
15:45～16:05 (20分)	講演1 沖縄県の取り組み（1講演） 1-2 平成27年度沖縄県事業報告（20分） 松田 了（沖縄県環境部環境整備課 課長）
16:05～16:15（10分）	休憩
16:15～16:55 (40分) (20分・20分)	講演2 上海、福建の取り組み（2講演） 1-3 上海仁渡海洋公益发展中心の取り組み報告（20分） （上海仁渡海洋公益发展中心） 1-4 福建省环保志愿者协会の取り組み報告（20分） （福建省环保志愿者协会）
16:55～18:15 (80分) (20分・20分・ 20分・20分)	講演3 台湾の取り組み（4講演） 1-5 新北市の取り組み（20分） 李麗慧（新北市淡水區清潔隊 隊長） 1-6 花蓮県の取り組み（20分） 饒瑞玲（花蓮縣環境保護局 副局長） 1-7 「海洋廢棄物議題 跨界合作」（20分） 陳姿蓉（社團法人 台灣環境資訊協會） 1-8 「臺灣海峽上的巨型海廢攔截網 澎湖群島」（20分） 翁珍聖（財團法人海洋公民基金會 執行長）
18:15～18:20 (5分)	閉会挨拶 棚原 憲実（沖縄県環境部 環境企画統括監）
18:20～18:45	休憩（歓迎会準備）
18:45～20:00	歓迎会

※全てに逐次通訳（日→中・中→日）が付きまます。

漫湖水鳥・湿地センター（沖縄県豊見城市字豊見城 982）



③ プログラム（敬称略）

時間	内容
9 : 15	開会 山内 努（沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長）
9 : 15～9 : 25 (10分)	漫湖水鳥・湿地センター挨拶 長嶺 将範（漫湖水鳥・湿地センター 主査）
9 : 25～10 : 05 (40分) (20分・20分)	講演2 沖縄県民間団体の取り組み（2講演） 2-1 漫湖自然環境保全連絡協議会の取り組み（20分） 池村 浩明（漫湖自然環境保全連絡協議会 会員） 2-2 沖縄リサイクル運動市民の会の取り組み（20分） 眞喜志 敦（沖縄リサイクル運動市民の会 環境プロジェクト担当）
10 : 05～12 : 30	ワークショップ 「モニタリング調査手法の検討と環境教育・普及啓発への活用」 ファシリテータ：鹿谷 麻夕（しかたに自然案内 代表） ：大堀 健司（石垣島沿岸レジャー安全協議会 役員） ●モニタリング調査項目（ペットボトル、ビニール袋、発泡スチロール）の環境教育への応用例 ●2-3 プラットホームでのデータ入力フォーマットの検討 ●モニタリング手法の検討（野帳案をもとにした手法の検討）
12 : 30～13 : 30	昼食
13 : 30～14 : 30	合同海岸調査「國場川河口部分」 國場川河口部分（センターから徒歩5分）へ移動します。
14 : 30～16 : 00	野帳の再検討
16 : 00	閉会 山内 努（沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長）

※全てに逐次通訳（日→中・中→日）がつきます。

2/12の開催内容

- ワークショップ「他業界への働きかけ」の検討
- 全体協議「交流事業の今後の展開と交流事業の感想」

■ ワークショップ・全体協議【2/12（日） 9：15～15：00】

① 集合

集合場所	<p>宿泊者：「東横イン 那覇新都心おもろまち」フロント 集合 8：40</p> <p>宿泊者以外の方：「漫湖水鳥・湿地センター」 集合 9：00</p>
注意	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宿泊者はホテルから会場までタクシーで送迎します。ワークショップ終了までホテルに戻りません。 ○ ワークショップ終了後に帰る方は会場まで荷物をお持ちください。 ○ 車で来場される方は、漫湖水鳥・湿地センターの駐車場をご利用ください。

② ワークショップ会場

会場	漫湖水鳥・湿地センター Manko Waterbird and Wetland Center
----	--

③ プログラム（敬称略）

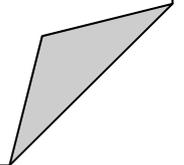
時間	内容
9：15	開会 山内 努（沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長）
9：20～12：00	ワークショップ「他業界への働きかけの検討」 ファシリテータ：大堀 健司（石垣島沿岸レジャー安全協議会 役員） ：鹿谷 麻夕（しかたに自然案内 代表）
12：00～13：00（60分）	昼食
13：00～14：40	全体協議「今後の交流事業の展開と交流事業の感想」 ファシリテータ：鹿谷 麻夕（しかたに自然案内 代表） ：大堀 健司（石垣島沿岸レジャー安全協議会 役員）
14：40～15：00	閉会挨拶 棚原 憲実（沖縄県環境部 環境企画統括監）

※全てに逐次通訳（日→中・中→日）がつきます。

宿泊施設情報【 2/10(金)~11(土)】

東横イン那覇新都心おもろまち	
外観	 
住所	〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち 1-2-27
URL	http://toyoko-inn-omoromachi.com/
TEL/FAX	098-863-1045 / 098-863-1044
アクセス	沖縄都市モノレール ゆいレールおもろまち駅下車、徒歩7分
周辺地図	
朝食	あり (6:30~9:00)
館内設備	自動販売機、コインランドリー(有料)、クリーニングサービス、パソコン利用可、ファックス送信可、マッサージサービス、モーニングコール、宅配便、セーフティーボックス、製氷機 等
部屋設備・備品	テレビ、電話、インターネット接続(LAN形式)、ティーサーバー、冷蔵庫、ドライヤー、ズボンプレス、加湿器、個別空調、トイレ、石鹸、ボディソープ、シャンプー・リンス、ハミガキセット、カミソリ、シャワーキャップ、くし、タオル、バスタオル、浴衣、スリッパ、パジャマ、金庫 等

MEMO



東亞地區海漂物對策交流事務

East Asia Exchange Program On Marine Litter

2017年2月 那霸



西表島 中野海岸（沖繩県竹富町）



主辦單位 沖繩縣



目 次



前言	1
於那霸進行之交流事業概要	3
■ 行程表	3
■ 參加人員名單	5
2/10（五）活動內容	
■ 海岸視察	6
■ 開幕式・歡迎會	7
2/11（六）活動內容	
■ Workshop・再次探討共同海岸調查與田野筆記	9
2/12（日）活動內容	
■ Workshop・全體協議	12
住宿資訊	13

前言

沖繩縣 2017 年度實施之 「東亞地區海漂物對策交流事務」介紹

■ 活動目的

沖繩縣於 2009 年起，運用日本政府補助金推動以瞭解海漂垃圾情況為目的進行之調查工作，並著手研擬解決方案，進行垃圾清運處理、避免垃圾產生之相關普及啟蒙活動和環保教育等多項工作。

儘管沖繩縣的海岸漂流垃圾當中，許多都是來自國外的垃圾，但來自縣內的垃圾也不少，尤其是人口較多的地區產生的垃圾，更是占了相當高的比例。有鑑於此，為了推動避免海漂垃圾產生的解決方案，需由地方相關人士針對海漂垃圾情況與解決方案共享資訊，而普及啟蒙及環保教育方面的計畫更是不可或缺，更重要的是必須培育及確保能夠擔此重任的人才。

此外，海漂垃圾不只是縣內的問題，如果能與鄰近國家建立起共享資訊與互惠合作的關係，據此合作基礎推動解決方案，將可大幅度提升執行效率。

因此沖繩縣決定將於 2014 年度・2015 年度起，以鄰近沖繩縣的台灣為對象，邀請台灣政府機構與民間團體參與研討，在合作踏查雙方海岸情況的同時，針對海漂垃圾的現況、問題癥結及解決方案進行資訊共享與意見交流，特此舉辦「沖繩與台灣海漂垃圾對策交流事業」。

2016 年度的交流對象加入上海、福建，針對東亞地區海岸漂流物的現狀以及課題進行資訊交流、交換意見，並一同探討解決方案。本事業的目的在於，將本交流的成果，活用於各自的環境教育以及普及啟蒙等活動，進而推動抑制海岸漂流物的產生。

■ 活動計畫與內容

於 2017 年 2 月 10 日至 12 日，在沖繩縣那霸市實行探討針對海岸漂流垃圾的共同監控調查手法以及於環境教育與普及啟蒙的活用方法、作為海岸漂流物對策以探討「向其他業界的推動」為主題進行 Workshop，以及海岸漂流垃圾的共同海岸調查等活動。

■ 與會機構及團體

- 主辦單位 沖繩県環境部環境整備課
- 沖繩縣與會機構及團體 沖繩県立芸術大学、一般社団法人 JEAN、那覇クリーンビーチクラブ、しかたに自然案内、久米島ホタルの会、漫湖自然環境保全連絡協議会、沖繩県サンゴ礁保全推進協議会／NPO 法人美ら海振興会、沖繩リサイクル運動市民の会、NPO 法人宮古島 海の環境ネットワーク、石垣島沿岸レジャー安全協議会、海 LOVE ネットワーク事務局、石垣ビーチクリーンクラブ、NPO 法人西表島エコツーリズム協会、NPO 法人美ら海振興会／(株)パシフィック・ホスピタリティー・グループ、公益財団法人沖繩こどもの国（沖繩県地域環境センター）
- 台灣與會機構及團體 新北市政府環境保護局、新北市淡水區清潔隊、基隆市政府環境保護局環境管理科、花蓮縣環境保護局 台灣清淨海洋行動聯盟（T. O. C. A）
財團法人黑潮海洋文教基金會、社團法人中華民國荒野保護協會、社團法人台灣環境資訊協會、臺南市社區大學/海灘廢棄物監測社、國立海洋科技博物館、財團法人海洋公民基金會、福智淨塑推動小組、海湧工作室
- 上海與會團體 上海仁渡海洋公益发展中心
- 福建與會團體 福建省环保志愿者协会
- 贊助單位 公益財団法人沖繩県産業振興公社 台北事務所・上海事務所・福州駐在所、漫湖・水鳥湿地センター
- 事業受託業者 日本 NUS (股)、(股)沖繩環境保全研究所 共同企業體

■ 洽詢專線

主辦單位：沖繩縣環境部環境整備課

負責人 前川(MAEKAWA) 龍太 (RYUTA) TEL：+81-98-866-2231

事業受託業者：日本 NUS (股)、(股)沖繩環境保全研究所 共同企業體

負責人 日本 NUS (股) 野上(NOGAMI) 大介(DAISUKE) TEL：+81-90-1800-6707

於那霸進行之交流事業概要

(2017年2月10日~2月12日)

■ 行程表

日 程		活 動 內 容
2017年 2/10 (五)	上午	海岸視察 8:00~14:30 (沖繩県本部町新里地区 周辺海岸)
	下午	開幕式 15:00~18:20 (那霸機場國內線旅客航站大廈1樓到達大廳北側會議室A・B) <ul style="list-style-type: none"> ●舉辦主旨、交流事務的說明 : 沖繩縣 ●交流基本方針的說明 : 沖繩縣 ●沖繩縣的活動報告 : 沖繩縣 ●上海、福建的活動報告 : 上海仁渡海洋公益发展中心 福建省环保志愿者协会 ●台灣的活動報告 : 新北市、花蓮県 : 台灣民間團體 (2團體)
		歡迎會 18:45~20:00 (那霸機場國內線旅客航站大廈1樓到達大廳北側會議室A・B)
2/11 (六)	上午	事前說明會 9:15~10:05 (豊見城市 漫湖水鳥・濕地中心) <ul style="list-style-type: none"> ●介紹漫湖水鳥・濕地中心 : 湖水鳥・濕地中心 ●沖繩縣民間團體的活動報告 : 漫湖自然環境保全連絡協議会 Okinawa Citizen`s Recycling Movement
		Workshop 10:05~12:30 (豊見城市 漫湖水鳥・濕地中心) <ul style="list-style-type: none"> ●探討監控手法以及於環境教育與普及啟蒙的活用方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 監控調查項目 (寶特瓶、塑膠袋、保麗龍) 於環境教育的活用案例 ・ 探討於平台輸入數據的格式 ・ 探討監控手法 (檢討以田野筆記案為本的手法)
	休 息 (12:30~13:30)	
	下午	共同海岸調查 13:30~14:30 (國場川 河口附近) <ul style="list-style-type: none"> ●為探討監控手法進行共同海岸調查
		再次探討田野筆記方案 14:30~16:00 (豊見城市 漫湖水鳥・濕地中心) <ul style="list-style-type: none"> ●再次探討田野筆記方案

日 程		活 動 內 容
2/12 (日)	上午	Wordshop 9:00~12:00 (豐見城市 漫湖水鳥・濕地中心) <ul style="list-style-type: none"> ●探討「向其他業界的推動」 ・針對「向其他業界的推動」交換意見
	休 息 (12:00~13:00)	
	下午	全體協議 13:00~15:00 (豐見城市 漫湖水鳥・濕地中心) <ul style="list-style-type: none"> ・關於今後交流事業的展開 ・對 2017 年交流事業的感想

參加人員名單（敬称略／順不同）

	所属	役職	氏名	NAME
1	沖縄県	沖縄県環境部	部長	大浜 浩志 Ohama Hiroshi
2		沖縄県環境部	環境企画統括監	棚原 憲実 Tanahara Norimi
3		沖縄県環境部環境整備課	課長	松田 了 Matsuda Satoru
4		沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班	班長	山内 努 Yamauchi Tsutomu
5		沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班	主任	前川 龍太 Maekawa Ryouta
6	沖縄 民間団体	（欠席）沖縄県立芸術大学	准教授	藤田 喜久 Fujita Yoshihisa
7		一般社団法人 JEAN	事務局長	小島 あずさ Kojima Azusa
8		那覇クリーンビーチクラブ	代表	具志頭 朝一 Gushikami Tomokazu
9		しかたに自然案内	代表	鹿谷 麻夕 Shikatani Mayu
10		（欠席）久米島ホテルの会	事務局長	佐藤 直美 Sato Naomi
11		漫湖自然環境保全連絡協議会	会員	池村 浩明 Ikemura Hiroaki
12		（欠席）沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 NPO法人 美ら海振興会	会員 理事	小菅 陽子 Kosuga Yoko
13		沖縄リサイクル運動市民の会	環境プロジェクト担当	眞喜志 敦 Makishi Atsushi
14		NPO法人 宮古島 海の環境ネットワーク	事務局長	春川 京子 Harukawa Kyoko
15		石垣島沿岸レジャー安全協議会	役員	大堀 健司 Ohori Kenji
16		海LOVEネットワーク事務局	実行委員長	笠原 利香 Kasahara Rika
17		石垣ビーチクリーンクラブ	代表	佐藤 紀子 Sato Noriko
18		NPO法人 西表島エコツーリズム協会	理事	徳岡 春美 Tokuoka Harumi
19		NPO法人 美ら海振興会 株式会社パンフィック・ホスピタリティー・グループ	副会長 HR事業部部长	加藤 淳一 Kato Junichi
20	公益財団法人 沖縄こどもの国 （沖縄県地域環境センター）	こども未来課 沖縄県地域環境センター担当	比嘉 香織 Higa Kaori	
21	新北市	新北市淡水区清潔隊	隊長	李麗慧 Lee Li-Hui
22	花蓮縣	花蓮縣環境保護局	副局長	饒瑞玲 Jao Jui-Ling
23	台湾 民間団体	財団法人 黑潮海洋文教基金會	研究員	呂允中 Lu Yun-Chung
24		社團法人 中華民國荒野保護協會	海洋守護專員	胡介申 Hu Chieh-Shen
25		社團法人 台湾環境資訊協會	專案執行	陳姿蓉 Chen Zih-Rong
26		國立海洋科技博物館	展示教育組主任	陳麗淑 Chen Li-Shu
27		國立海洋科技博物館	展示教育組環境教育專職人員	許婉瑜 Hsu Wan-Yu
28		財団法人 海洋公民基金會	執行長	翁珍聖 Weng Chen-Sheng
29		福智淨塑推動小組	專案負責人	許靜娟 Hsu Jing-Juan
30		福智淨塑推動小組	專案負責人	駱貞羽 Lo Chen-Yu
31		海湧工作室	執行長	陳人平 Chen Ren-Ping
32		海湧工作室	副執行長	郭英 Kuo Fu
33	上海 民間団体	上海仁渡海洋公益发展中心	助理主任	茹懿 Ru Yi
34		上海仁渡海洋公益发展中心	研究助理	曹源 Cao Yuan
35	福建 民間団体	福建省环保志愿者协会	副会长	郑棣健 Zheng Dijian
36		福建省环保志愿者协会	副会长 环保法律咨询与公益诉讼委员会主任	閻小冬 Kan Xiaodong
37		福建省环保志愿者协会	传播与品牌建设专员	蓝玮薇 Lan Weiwei
38	事業支援	（欠席）公益財団法人 沖縄縣産業振興公社 台北事務所	所長	吉永 亮太 Yoshinaga Ryouta
39		（欠席）公益財団法人 沖縄縣産業振興公社 上海事務所・福州駐在所	主席代表（所长）	大濱 長健 Ohama Nagatake
40		（欠席）公益財団法人 沖縄縣産業振興公社 福州駐在所	副所长	張小云 Zhang Xiao Yun
41		（欠席）公益財団法人 沖縄縣産業振興公社 福州駐在所		黃知一 Huang Zhi Yi
42		漫湖水鳥・湿地センター	主査	長嶺 将範 Nagamine Masanori
43	事業 受託業者	日本エヌ・ユー・エス株式会社	沖縄事務所所長	野上 大介 Nogami Daisuke
44		日本エヌ・ユー・エス株式会社		後藤 澄江 Goto Sumie
45		日本エヌ・ユー・エス株式会社 / 通訳		江俊賢 Chiang Jing-Hsien
46		株式会社沖縄環境保全研究所環境事業部環境技術課	主査	佐々木 社 Sasaki Sho
47	通訳 Interpreter	アイコンサルティング株式会社		小橋川 耀華 Kobashigawa Youka
48		アイコンサルティング株式会社		王志英 Wang Zhiying
49		海洋危険生物研究会	代表幹事	新城 安哲 Araki Yasutetsu
50	琉球大学 文法学部 人文社会科学研究科 国際言語文化専攻		毛潔 MAO JIE	
51	オブザーバー Observer	水中写真家 / 有限会社ちむちゅらさ	代表取締役	横井 謙典 Yokoi Kensuke
52		台湾企業股份有限公司	經理	卓大鈞 Cho Ta-Chun
53	台湾メディア Media	聯合報		曾學仁 Tseng Hsueh-Jen
54		聯合報		賈實楠 Chia Pao-Nan
55		聯合報		游昌禪 Yu Chang-Hua
56		聯合報		徐宇威 Hsu Yu-Wei
57		聯合報（通訳）		張嘉芳 Chang Chia-Fang

2/10(五)活動內容

- 海岸視察
- 開幕式
- 歡迎會

■ 海岸視察【2/10（五） 8：00～15：00】

① 集合

集合場所	「Toyoko Inn Okinawa Naha Shintoshin Omoromachi (東横イン那覇新都心おもろまち)」酒店門口 集合 7：50
注意	○ 從酒店至海岸視察會場以巴士移動。 ○ 開幕式、歡迎會結束前不會回到酒店。

② 會場

會場	<p>沖繩縣本部町新里地區 新里地先之海岸</p> 
----	---

③ 行程表

時間	內容
7：50	集合（「Toyoko Inn Okinawa Naha Shintoshin Omoromachi」酒店門口）
8：00～10：00	移動至海岸
10：00～11：00（60分）	於沖繩縣本部町新里地區 新里地先之海岸視察
11：15～12：15	中餐
12：15～14：30	移動至開幕式、歡迎會會場

■ 開幕式・歡迎會【2/10（五）15：00～20：00】

① 集合

集合場所	那霸機場國內線旅客航站大廈1樓到達大廳北側會議室(A・B) 集合 14：50
注意	○ 從海岸視察會場至開幕式、歡迎會以巴士移動。

② 會場

會場	那霸機場國內線旅客航站大廈1樓到達大廳北側會議室(A・B)
施設案内	<p>那霸機場國內線旅客航站大廈1樓 Floor MAP</p> 
注意	○ 在場內的飲食可能（ <u>垃圾請自行帶回</u> ）。

③ 開幕式・歡迎會流程（敬称略）

時間	內容
15：00 (5分)	會議開始 司儀：山内 努（沖繩県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長）
15：05～15：15 (10分)	主辦單位主管致詞 大浜 浩志（沖繩県環境部 部長）
15：15～15：25 (10分)	參加人員紹介 松田 了（沖繩県環境部環境整備課 課長）
15：25～15：35 (10分)	舉辦主旨、交流事務的說明 松田 了（沖繩県環境部環境整備課 課長）
15：35～15：45 (10分)	1-1 交流基本方針的說明 前川 龍太（沖繩県環境部環境整備課一般廃棄物班 主任）
15：45～16：05 (20分)	講演 1 沖繩的活動報告（1 講演） 1-2 平成 27 年度沖繩県事業報告（20 分） 松田 了（沖繩県環境部環境整備課 課長）
16：05～16：15（10分）	休 息
16：15～16：55 (40分) (20分・20分)	講演 2 上海、福建的活動報告（2 講演） 1-3 上海仁渡海洋公益发展中心（20 分） （上海仁渡海洋公益发展中心） 1-4 福建省环保志愿者协会（20 分） （福福建省环保志愿者协会）
16：55～18：15 (80分) (20分・20分・20分・20分)	講演 3 台灣的活動報告（4 講演） 1-5 新北市事業報告（20 分） 李麗慧（新北市淡水區清潔隊 隊長） 1-6 台灣花蓮海廢事務管理簡介（20 分） 饒瑞玲（花蓮縣環境保護局 副局長） 1-7 「海洋廢棄物議題 跨界合作」（20 分） 陳姿蓉（社團法人 台灣環境資訊協會） 1-8 「臺灣海峽上的巨型海廢攔截網 澎湖群島」（20 分） 翁珍聖（財團法人海洋公民基金會 執行長）
18：15～18：20 (5分)	閉幕詞 棚原 憲実（沖繩県環境部 環境企画統括監）
18：20～18：45	休息（歡迎會準備）
18：45～20：00	歡迎會

※因全部的講演都有雙向口譯（日→中・中→日）

2/11(六)活動內容

- Word Shop「探討監控手法以及於環境教育與普及啟蒙的活用方法」
- 再次探討共同海岸調查與田野筆記

■ Workshop・再次探討共同海岸調查與田野筆記【9：15～16：00】

① 集合

集合場所	<p>「Toyoko Inn Okinawa Naha Shintoshin Omoromachi (東横イン那覇新都心おもろまち)」酒店門口</p> <p style="font-size: 1.2em;">集合 8：40</p>
注意	<ul style="list-style-type: none"> ○ 從酒店至會場以巴士接送。 ○ 因進行共同海岸調查，請穿著活動方便、耐髒的鞋子參加。 (於退潮時進行活動，故不會進入水中。) ○ Work Shop 結束前不會回到酒店。

② 會場

會場	漫湖水鳥・濕地中心 Manko Waterbird and Wetland Center
施設案内	<p>The floor plan shows two levels. The 2nd floor (2F) includes an observation deck (観察デッキ), a study room (研修室) highlighted with a red arrow, a bird feeding area (吹き出し), an observation platform (観察展望台), and a library floor (図書フロア). The 1st floor (1F) includes a terrace (テラス), a washroom (洗い場), an entrance hall (エントランスホール), a reception desk (受付), restrooms (男子トイレ, 女子トイレ, 車いす用トイレ), a water area (水道入口), a water display (水発露装置), and a reception counter (前売口). A legend at the bottom identifies symbols for reception, restrooms, and wheelchair access.</p>

漫湖水鳥・湿地中心（沖縄県豊見城市字豊見城 982）



③ Work Shop・共同海岸調査流程

時間	内容
9 : 15	會議開始 司儀：山内 努（沖繩県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長）
9 : 15～9 : 25 (10分)	主査致詞 長嶺 将範（漫湖水鳥・濕地中心 主査）
9 : 25～10 : 05 (40分) (20分・20分)	講演 2 沖繩縣民間團體的活動報告（2 講演） 2-1 池村 浩明（漫湖自然環境保全連絡協議会） 2-2 眞喜志 敦（沖繩リサイクル運動市民の会 環境プロジェクト担当）
10 : 05～12 : 30	Work Shop「探討監控手法以及於環境教育與普及啟蒙的活用方法」 主持人：鹿谷 麻夕（しかたに自然案内 代表） ：大堀 健司（石垣島沿岸レジャー安全協議会 役員）
12 : 30～13 : 30	休息（中餐）
13 : 30～14 : 30	共同海岸調査 「國場川河口部分」
14 : 30～16 : 00	再次探討共同海岸調査與田野筆記
16 : 00	閉幕詞 山内 努（沖繩県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長）

※因全部的講演都有雙向口譯（日→中・中→日）

2/12(日)活動內容

- Work Shop「向其他業界的推動」
- 全體協議「今後交流事業的展開與交流事業的感想」

■ Work Shop・全體協議【2/12(日) 9:15~15:00】

① 集合

集合場所	「Toyoko Inn Okinawa Naha Shintoshin Omoromachi 東横イン 那覇新都心おもろまち」 酒店門口 集合 8:40
注意	<ul style="list-style-type: none"> ○ 從酒店至會場以巴士接送。 ○ Work Shop 結束前不會回到酒店。

② Work Shop 會場

會場	漫湖水鳥・濕地中心 Manko Waterbird and Wetland Center
----	---

③ Work Shop・全體協議會議流程（敬称略）

時間	內容
9:15	會議開始 山内 努（沖繩県環境部環境整備課一般廢棄物班 班長）
9:20~12:00	Work Shop「向其他業界的推動」 主持人：大堀 健司（石垣島沿岸レジャー安全協議会 役員） ：鹿谷 麻夕（しかたに自然案内 代表）
12:00~13:00（60分）	休息（中餐）
13:00~14:40	全體協議「今後の交流事業の展開と交流事業の感想」 主持人：鹿谷 麻夕（しかたに自然案内 代表） ：大堀 健司（石垣島沿岸レジャー安全協議会 役員）
14:40~15:00	閉幕詞 棚原 憲実（沖繩県環境部 環境企画統括監）

※因全部的講演都有雙向口譯（日→中・中→日）

住宿資訊【 2/9(四)~12(日) 】

Toyoko Inn Okinawa Naha Shintoshin Omoromachi
東横イン 那覇新都心おもろまち



Address 1-2-27 , Omoromachi Naha-city, Okinawa, 900-0006, Japan

URL http://www.toyoko-inn.com/e_hotel/00099/index.html

TEL/FAX +81-(0)98-863-1045 / +81-(0)98-863-1044

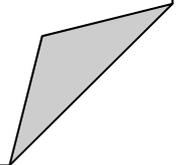
Access 7 minutes walk from the Omoromachi Monorail Station

Map



Breakfast Free Breakfast (6:30-9:00)

MEMO



东亚地区海漂垃圾对策交流事业

East Asia Exchange Program On Marine Litter

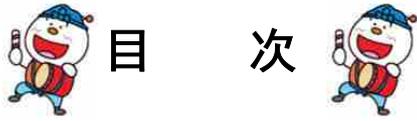
2017年2月 那霸



西表島 中野海岸（沖縄県竹富町）



主办单位 冲绳县



目次

前言	1
于那霸进行的交流事业)之概要	3
■日程表	3
■参加人员名单	5
2/10 (五) 活动内容	
■ 海岸参观	6
■ 开幕式/欢迎会	7
2/11 (六) 活动内容	
■ Workshop/再次探讨共同海岸调查与田野笔记	9
2/12 (日) 活动内容	
■ Workshop·全体协商	12
住宿信息	13

前言

介绍冲绳县 2017 年度实行的 “东亚地区海漂垃圾对策交流事业”

■ 活动目的

冲绳县于 2009 年起，运用日本政府补助金推动以了解海漂垃圾情况为目的，进行其调查工作，并着手研拟解决方案，通过进行垃圾清理搬运处理，推动与减少海漂垃圾有关的普及和启发活动、环保教育等多项工作。

尽管在冲绳县的海岸漂流垃圾当中许多都是来自国外的垃圾，但来自本县内的垃圾也不少，尤其是人口较多的地区产生的垃圾，更是占了相当大的比例。有鉴于此，为了推动减少海漂垃圾的解决方案，需由地方相关人士针对海漂垃圾情况与解决方案共享信息，而普及和启发、环保教育方面的计划更是不可或缺，更重要的是必须培育及确保能够担此重任的人才。

此外，海漂垃圾不只是县内的问题，如果能与邻近国家和地区建立起共享信息、互惠合作的关系，在此基础上推动解决方案将可大幅度提升实施效率。

因此冲绳县决定将于 2014 年度、2015 年度起，以邻近冲绳县的台湾为对象，邀请台湾政府机构与民间团体参与研讨，在合作勘察双方海岸情况的同时，针对海漂垃圾的现况、问题症结及解决方案进行信息共享与意见交流，特此举办“冲绳与台湾海漂垃圾对策交流事业”。

2016 年度，上海和福建新加入了交流队伍，我们将针对东亚地区海岸漂流物的现状及课题进行信息共享、交换意见，并一同探讨解决方案。本事业的目的在于将交流成果活用于各自的环境教育以及普及启发等活动，积极采取措施以抑制海岸漂流物的产生。

■ 活动计划与内容

2017 年 2 月 10 日至 12 日，在冲绳县那霸市实施以下活动：针对海岸漂流垃圾的共同监控调查方法及其在环境教育和普及启发中的运用方法进行探讨；作为海岸漂流物对策之一，开展以探讨“向其他业界的推动”为主题的 Workshop；开展海岸漂流垃圾的共同海岸调查。

■ 参会机构及团体

- 主办单位 沖縄県環境部環境整備課
- 沖縄县参会机构及团体 沖縄県立芸術大学、一般社団法人 JEAN、那覇クリーンビーチクラブ、しかたに自然案内、久米島ホタルの会、漫湖自然環境保全連絡協議会、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会／NPO 法人美ら海振興会、沖縄リサイクル運動市民の会、NPO 法人宮古島 海の環境ネットワーク、石垣島沿岸レジャー安全協議会、海 LOVE ネットワーク事務局、石垣ビーチクリーンクラブ、NPO 法人西表島エコツーリズム協会、NPO 法人美ら海振興会／(株)パシフィック・ホスピタリティ・グループ、公益財団法人沖縄こどもの国（沖縄県地域環境センター）
- 台湾参会机构及团体 新北市政府環境保護局、新北市淡水區清潔隊、基隆市政府環境保護局環境管理科、花蓮縣環境保護局 台灣清淨海洋行動聯盟（T. O. C. A）
財團法人黑潮海洋文教基金會、社團法人中華民國荒野保護協會、社團法人台灣環境資訊協會、臺南市社區大學/海灘廢棄物監測社、國立海洋科技博物館、財團法人海洋公民基金會、福智淨塑推動小組、海湧工作室
- 上海参会团体 上海仁渡海洋公益发展中心
- 福建参会团体 福建省环保志愿者协会
- 赞助单位 公益財団法人沖縄県産業振興公社 台北事務所・上海事務所・福州駐在所、漫湖・水鳥湿地センター
- 业务受托单位 株式会社日本 NUS、株式会社沖縄環境保全研究所共同企业体

■ 问询专线

主办单位：沖縄县環境部環境整備課

负责人 前川(MAEKAWA) 龙太(RYUTA) TEL : +81-98-866-2231

事业受托业者：日本 NUS (股)、(股)沖縄環境保全研究所 共同企业体

负责人 日本 NUS (股) 野上(NOGAMI) 大介(DAISUKE) TEL : +81-90-1800-6707

于那霸进行的交流事业之概要

(2017年2月10日~2月12日)

■ 行程表

日 程		具体内容
2017年 2/10 (五)	上午	海岸参观 8:00~14:30 (冲绳县本部町新里地区 周边海岸)
	下午	开幕式 15:00~18:20 (那霸机场国内航线旅客航站楼大厦1楼到达大厅北侧会议室 A·B)
		<ul style="list-style-type: none"> ●举办宗旨、交流事业的说明 : 冲绳县 ●交流基本方针的说明 : 冲绳县 ●冲绳县的活动报告 : 冲绳县 ●上海、福建的活动报告 : 上海仁渡海洋公益发展中心 福建省环保志愿者协会 ●台湾的活动报告 : 新北市、花莲县 : 台湾民间团体 (2 团体)
	欢迎会 18:45~20:00 (那霸机场国内航线旅客航站楼大厦1楼到达大厅北侧会议室 A·B)	
2/11 (六)	上午	事前说明会 9:15~10:05 (丰见城市 漫湖水鸟·湿地中心)
		<ul style="list-style-type: none"> ●介绍漫湖水鸟·湿地中心 : 漫湖水鸟·湿地中心 ●冲绳县民间团体的活动报告: 漫湖自然环境保全联络协议会 Okinawa Citizen`s Recycling Movement
		Workshop 10:05~12:30 (丰见城市 漫湖水鸟·湿地中心)
		<ul style="list-style-type: none"> ●探讨监控手法以及于环境教育与普及启发的活用方法 · 监控调查项目 (塑料瓶、塑料袋、泡沫塑料) 在环境教育中的运用案例 · 探讨使用平台输入数据的格式 · 探讨监控手法 (探讨以田野笔记方案为基础的方法)
		休 息 (12:30~13:30)
	下午	共同海岸调查 13:30~14:30 (国场川 河口附近)
		<ul style="list-style-type: none"> ●为探讨监控手法进行共同海岸调查
		再次探讨田野笔记方案 14:30~16:00 (丰见城市 漫湖水鸟·湿地中心)
		<ul style="list-style-type: none"> ●再次探讨田野笔记方案

日 程		具体内容
2/12 (日)	上午	Workshop 9:00~12:00 (丰见城市 漫湖水鸟·湿地中心) <ul style="list-style-type: none"> ●探讨“向其他业界的推动” · 针对“向其他业界的推动”交换意见
	休 息 (12:00~13:00)	
	下午	全体协商 13:00~15:00 (丰见城市 漫湖水鸟·湿地中心) <ul style="list-style-type: none"> · 关于今后交流事业的开展 · 对 2017 年交流事业的感想

■ 参加人员名单（敬称略 / 順不同）

	所属	役職	氏名	NAME
1	沖縄県	沖縄県環境部	部長	大浜 浩志 Ohama Hiroshi
2		沖縄県環境部	環境企画統括監	棚原 憲実 Tanahara Norimi
3		沖縄県環境部環境整備課	課長	松田 了 Matsuda Satoru
4		沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班	班長	山内 努 Yamauchi Tsutomu
5		沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班	主任	前川 龍太 Maekawa Ryouta
6	沖縄 民間団体	（欠席）沖縄県立芸術大学	准教授	藤田 喜久 Fujita Yoshihisa
7		一般社団法人 JEAN	事務局長	小島 あずさ Kojima Azusa
8		那覇クリーンビーチクラブ	代表	具志頭 朝一 Gushikami Tomokazu
9		しかたに自然案内	代表	鹿谷 麻夕 Shikatani Mayu
10		（欠席）久米島ホテルの会	事務局長	佐藤 直美 Sato Naomi
11		漫湖自然環境保全連絡協議会	会員	池村 浩明 Ikemura Hiroaki
12		（欠席）沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 NPO法人 美ら海振興会	会員 理事	小菅 陽子 Kosuga Yoko
13		沖縄リサイクル運動市民の会	環境プロジェクト担当	眞喜志 敦 Makishi Atsushi
14		NPO法人 宮古島 海の環境ネットワーク	事務局長	春川 京子 Harukawa Kyoko
15		石垣島沿岸レジャー安全協議会	役員	大堀 健司 Ohori Kenji
16		海LOVEネットワーク事務局	実行委員長	笠原 利香 Kasahara Rika
17		石垣ビーチクリーンクラブ	代表	佐藤 紀子 Sato Noriko
18		NPO法人 西表島エコツーリズム協会	理事	徳岡 春美 Tokuoaka Harumi
19		NPO法人 美ら海振興会 株式会社パンフィック・ホスピタリティー・グループ	副会長 HR事業部部長	加藤 淳一 Kato Junichi
20	公益財団法人 沖縄こどもの国 （沖縄県地域環境センター）	こども未来課 沖縄県地域環境センター担当	比嘉 香織 Higa Kaori	
21	新北市	新北市淡水区清潔隊	隊長	李麗慧 Lee Li-Hui
22	花蓮縣	花蓮縣環境保護局	副局長	饒瑞玲 Jao Jui-Ling
23	台湾 民間団体	財団法人 黑潮海洋文教基金會	研究員	呂允中 Lu Yun-Chung
24		社團法人 中華民國荒野保護協會	海洋守護專員	胡介申 Hu Chieh-Shen
25		社團法人 台湾環境資訊協會	專案執行	陳姿蓉 Chen Zih-Rong
26		國立海洋科技博物館	展示教育組主任	陳麗淑 Chen Li-Shu
27		國立海洋科技博物館	展示教育組環境教育專職人員	許婉瑜 Hsu Wan-Yu
28		財団法人 海洋公民基金會	執行長	翁珍聖 Weng Chen-Sheng
29		福智淨塑推動小組	專案負責人	許靜娟 Hsu Jing-Juan
30		福智淨塑推動小組	專案負責人	駱貞羽 Lo Chen-Yu
31		海湧工作室	執行長	陳人平 Chen Ren-Ping
32		海湧工作室	副執行長	郭英 Kuo Fu
33	上海 民間団体	上海仁渡海洋公益发展中心	助理主任	茹懿 Ru Yi
34		上海仁渡海洋公益发展中心	研究助理	曹源 Cao Yuan
35	福建 民間団体	福建省环保志愿者协会	副会长	郑棣健 Zheng Dijian
36		福建省环保志愿者协会	副会长 环保法律咨询与公益诉讼委员会主任	閻小冬 Kan Xiaodong
37		福建省环保志愿者协会	传播与品牌建设专员	蓝玮薇 Lan Weiwei
38	事業支援	（欠席）公益財団法人 沖縄縣産業振興公社 台北事務所	所長	吉永 亮太 Yoshinaga Ryouta
39		（欠席）公益財団法人 沖縄縣産業振興公社 上海事務所・福州駐在所	主席代表（所長）	大濱 長健 Ohama Nagatake
40		（欠席）公益財団法人 沖縄縣産業振興公社 福州駐在所	副所長	張小云 Zhang Xiao Yun
41		（欠席）公益財団法人 沖縄縣産業振興公社 福州駐在所		黃知一 Huang Zhi Yi
42		漫湖水鳥・湿地センター	主査	長嶺 将範 Nagamine Masanori
43	事業 受託業者	日本エヌ・ユー・エス株式会社	沖縄事務所所長	野上 大介 Nogami Daisuke
44		日本エヌ・ユー・エス株式会社		後藤 澄江 Goto Sumie
45		日本エヌ・ユー・エス株式会社 / 通訳		江俊賢 Chiang Jing-Hsien
46		株式会社沖縄環境保全研究所環境事業部環境技術課	主査	佐々木 社 Sasaki Sho
47	通訳 Interpreter	アイコンサルティング株式会社		小橋川 耀華 Kobashigawa Youka
48		アイコンサルティング株式会社		王志英 Wang Zhiying
49		海洋危険生物研究会	代表幹事	新城 安哲 Araki Yasutetsu
50	オブザーバー Observer	琉球大学 文法学部 人文社会科学研究科 国際言語文化専攻		毛潔 MAO JIE
51		水中写真家 / 有限会社ちむちゅらさ	代表取締役	横井 謙典 Yokoi Kensuke
52	台境企業股份有限公司	經理	卓大鈞 Cho Ta-Chun	
53	台湾メディア Media	聯合報		曾學仁 Tseng Hsueh-Jen
54		聯合報		賈實楠 Chia Pao-Nan
55		聯合報		游昌樺 Yu Chang-Hua
56		聯合報		徐宇威 Hsu Yu-Wei
57		聯合報（通訳）		張嘉芳 Chang Chia-Fang

2/10（五）活动内容

- 开幕式
- 海岸参观
- 开幕式

■ 海岸参观【2/10（五） 8：00～15：00】

① 集合

集合場所	「Toyoko Inn Okinawa Naha Shintoshin Omoromachi (東横イン那覇新都心おもろまち)」酒店門口 集合 7：50
注意	<ul style="list-style-type: none"> ○ 从酒店乘坐巴士前往海岸参观会场。 ○ 在开幕式和欢迎会结束之前不会返回酒店。

② 会场

会场	<p>冲绳县本部町新里地区 新里地先海岸</p> 
----	--

③ 行程表

时间	内容
7：50	集合（「Toyoko Inn Okinawa Naha Shintoshin Omoromachi」酒店門口）
8：00～10：00	前往海岸
10：00～11：00 (60分钟)	参观冲绳县本部町新里地区 新里地先海岸
11：15～12：15	午餐
12：15～14：30	前往开幕式和欢迎会会场

■ 开幕式和欢迎会【2/10（五）15：00～20：00】

① 集合

集合场所	那霸机场国内航线旅客航站楼大厦1楼到达大厅北侧会议室(A/B) 集合 14：50
注意	○ 从海岸参观会场乘坐巴士前往开幕式和欢迎会会场。

② 会场

会场	那霸机场国内航线旅客航站楼大厦1楼到达大厅北侧会议室(A/B)
地点说明	<p>那霸机场国内航线旅客航站楼大厦1楼 Floor MAP</p> 
注意	○ 可以在场内饮食（垃圾请自行带回）。

③ 开幕式和欢迎会流程（敬称略）

时间	内容
15: 00 (5 分钟)	会议开始 司儀：山内 努（沖繩県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長）
15: 05～15: 15 (10 分钟)	主办单位主管致词 大浜 浩志（沖繩県環境部 部長）
15: 15～15: 25 (10 分钟)	参加人员介绍 松田 了（沖繩県環境部環境整備課 課長）
15: 25～15: 35 (10 分钟)	举办宗旨和交流事业的说明 松田 了（沖繩県環境部環境整備課 課長）
15: 35～15: 45 (10 分钟)	1-1 交流基本方针的说明 前川 龍太（沖繩県環境部環境整備課一般廃棄物班 主任）
15: 45～16: 05 (20 分钟)	演讲 1 冲绳的活动报告（1 位演讲） 1-2 平成 27 年度（2015 年）冲绳县事业报告（20 分钟） 松田 了（沖繩県環境部環境整備課 課長）
16: 05～16: 15 (10 分钟)	休 息
16: 15～16: 55 (40 分钟) (20 分钟/20 分钟)	演讲 2 上海、福建的活动报告（2 位演讲） 1-3 上海仁渡海洋公益发展中心（20 分钟） （上海仁渡海洋公益发展中心） 1-4 福建省环保志愿者协会（20 分钟） （福福建省环保志愿者协会）
16: 55～18: 15 (80 分钟) (20 分钟/20 分钟/20 分钟/20 分钟)	演讲 3 台湾的活动报告（4 位演讲） 1-5 新北市事业报告（20 分钟） 李麗慧（新北市淡水區清潔隊 隊長） 1-6 台湾花莲海废事务管理简介（20 分钟） 饒瑞玲（花蓮縣環境保護局 副局長） 1-7 「海洋廢棄物議題 跨界合作」（20 分） 陳姿蓉（社團法人 台灣環境資訊協會） 1-8 「臺灣海峽上的巨型海廢攔截網 澎湖群島」（20 分） 翁珍聖（財團法人海洋公民基金會 執行長）
18: 15～18: 20 (5 分钟)	闭幕词 棚原 憲実（沖繩県環境部 環境企画統括監）
18: 20～18: 45	休息（准备欢迎会）
18: 45～20: 00	欢迎会

※所有演讲都安排有双向口译（日→中・中→日）。

漫湖水鳥・湿地中心（沖縄県豊見城市字豊見城 982）



③ Workshop・共同海岸调查流程

时间	内容
9: 15	会议开始 司儀：山内 努（沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長）
9: 15～9: 25 (10 分钟)	主査致词 長嶺 将範（漫湖水鳥・湿地中心 主査）
9: 25～10: 05 (40 分钟) (20 分钟/20 分钟)	演讲 1 沖縄県民間団体の活動報告（2 位演讲） 2-1 池村 浩明（漫湖自然環境保全連絡協議会） 2-2 眞喜志 敦（沖縄リサイクル運動市民の会 環境プロジェクト担当）
10: 05～12: 30	Workshop「探讨监控手法及其在环境教育与普及启发中的运用」 主持人：鹿谷 麻夕（しかたに自然案内 代表） ：大堀 健司（石垣島沿岸レジャー安全協議会 役員）
12: 30～13: 30	休息（午餐）
13: 30～14: 30	共同海岸调查 「国場川河口部分」
14: 30～16: 00	再次探讨共同海岸调查与田野笔记
16: 00	闭幕词 山内 努（沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長）

※所有演讲都安排有双向口译（日→中・中→日）

2/12（日）活动内容

- Work Shop “向其他业界的推动”
- 全体协商「今后交流事业的展开与交流事业的感想」

■ Workshop 【2/12（日）9：15～15：00】

① 集合

集合场所	「Toyoko Inn Okinawa Naha Shintoshin Omoromachi 東横イン 那覇新都心おもろまち」 酒店門口 集合 8：40
注意	○ 从酒店至会场以巴士接送。 ○ Workshop 结束前不会回到酒店。

① Workshop 会场

会场	漫湖水鸟・湿地中心 Manko Waterbird and Wetland Center
----	--

② Workshop “向其他业界的推动” 会议流程（敬称略）

时间	内容
9：15	会议开始 山内 努（沖縄県環境部環境整備課一般廃棄物班 班長）
9：20～12：00	Workshop “向其他业界的推动” 主持人：鹿谷 麻夕（しかたに自然案内 代表） ：大堀 健司（石垣島沿岸レジャー安全協議会 役員）
12：00～13：00 （60 分钟）	休息（午餐）
13：00～14：40	全体协商「今后交流事业的展开与交流事业的感想」 主持人：鹿谷 麻夕（しかたに自然案内 代表） ：大堀 健司（石垣島沿岸レジャー安全協議会 役員）
14：40～15：00	闭幕词 棚原 憲実（沖縄県環境部 環境企画統括監）

※所有演讲都安排有双向口译（日→中・中→日）

住宿信息 【 2/9 (四) ~2/12 (日) 】

Toyoko Inn Okinawa Naha Shintoshin Omoromachi
東横イン 那覇新都心おもろまち



Address 1-2-27 , Omoromachi Naha-city, Okinawa, 900-0006, Japan

URL http://www.toyoko-inn.com/e_hotel/00099/index.html

TEL/FAX +81-(0)98-863-1045 / +81-(0)98-863-1044

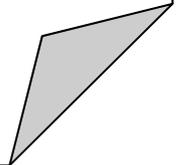
Access 7 minutes walk from the Omoromachi Monorail Station

Map



Breakfast Free Breakfast (6:30-9:00)

MEMO



東アジア地域漂着ごみ対策交流事業 2017

参加者・団体のご紹介



目 次

●沖縄県参加者・団体

沖縄県立芸術大学(Okinawa Prefectural University of Arts).....	1
一般社団法人 J E A N (Japan Environmental Action Network).....	2
那覇クリーンビーチクラブ(Naha Clean Beach Club).....	3
しかたに自然案内(Shikatani's Nature Guide Service).....	4
久米島ホテルの会.....	5
漫湖自然環境保全連絡協議会.....	6
沖縄県サンゴ礁保全推進協議会(Okinawa Coral Reef Conservation Council)／	
NPO法人 美ら海振興会.....	7
沖縄リサイクル運動市民の会(Okinawa Citizen's Recycling Movement).....	8
NPO法人 宮古島 海の環境ネットワーク(Miyakojima Sea Environmental Network).....	9
石垣島沿岸レジャー安全協議会.....	10
海LOVEネットワーク事務局.....	11
石垣ビーチクリーンクラブ(Ishigaki Beach Clean Club).....	12
NPO法人西表島エコツーリズム協会(Iriomote Island Ecotourism Association).....	13
NPO法人 美ら海振興会／株式会社パシフィック・ホスピタリティー・グループ	
.....	14
公益財団法人沖縄こどもの国(沖縄県地域環境センター)	
(OKINAWA Zoo&Museum(Regional Environmental Center)).....	15

●台湾参加団体

財団法人 黒潮海洋文教基金會.....	16
社団法人 中華民國荒野保護協會.....	17
社団法人 台灣環境資訊協會.....	18
國立海洋科技博物館.....	19
財団法人 海洋公民基金會.....	20
福智淨塑推動小組.....	21
海湧工作室.....	22

●上海・福建参加団体

上海仁渡海洋公益发展中心.....	24
福建省环保志愿者协会.....	25

●沖縄県参加者・団体

<p>沖縄県立芸術大学 (Okinawa Prefectural University of Arts) 准教授 藤田 喜久 (Yoshihisa Fujita)</p>	
Introduction	<p>活動地域: 沖縄県 / 日本 専門分野: 海洋生物学 (特に甲殻類および棘皮動物の生物学)</p>
研究実績 (出版)	<p>【Main research achievements in 2015】 Fujita, Y., Davie, P.J.F., & Ng, P.K.L., 2015. A new stygobitic prawn of the genus <i>Macrobrachium</i> Spence Bate, 1864, from anchialine caves in Christmas Island, Indian Ocean; with a rediagnosis of <i>M. miyakoense</i> Komai & Fujita, 2005 (Crustacea: Decapoda: Caridea: Palaemonidae). Raffles Bulletin of Zoology, 63: 610-625. Naruse, T., & Fujita, Y., 2015. <i>Lipkemera iejima</i>, a new cavernicolous crab (Brachyura: Xanthidae) from a submarine cave at Ie Island, central Ryukyu Islands, Japan. Crustacean Research, 44: 21-27. Yoshihisa Fujita ・& Seiichi Irimura ・& Youichi Kogure ・& Masanori Okanishi ・& Francois Michonneau ・& Tohru Naruse, 2015. Catalogue of Echinodermata Specimens Deposited in The University Museum (Fujukan), University of the Ryukyus. Catalogue of Materials Deposited in The University Museum (Fujukan), University of the Ryukyus, 10: 106pp. Naruse, T., Fujita, Y., Sasaki, T., & Yamada, T., 2015. <i>Holothuria</i> (<i>Halodeima</i>) <i>nigralutea</i> (Decapoda: Brachyura: Sesarmidae) from Ogasawara Islands. The Annual Report of Ogasawara Studies, 38: 87-90. Osawa, M., & Fujita, Y. (in press). Stomatopods and decapods of Axiidea, Gebiidea and Anomura (Crustacea: Malacostraca) from Irabu-jima and Shimoji-jima Islands, Miyako Group, southern Ryukyu, Japan. Fauna Ryukyuana. Fujita, Y., & Naruse, T. (in press). <i>Karstarma boholano</i> (Ng, 2002) (Decapoda: Brachyura: Sesarmidae) from Tarama-jima Island, Ryukyu Islands, southwestern Japan. Fauna Ryukyuana. Fujita, Y., & Naruse, T. (in press). <i>Karstarma boholano</i> (Ng, 2002) (Decapoda: Brachyura: Sesarmidae) from Tarama-jima Island, Ryukyu Islands, southwestern Japan. Fauna Ryukyuana. Fujita, Y., & Kobayashi, H. (in press). New distributional record of two stygobiotic shrimps (Decapoda: Caridea: Atyidae) in Okinawa-jima Island, Ryukyu Islands, southwestern Japan. Fauna Ryukyuana. Fujita, Y. (in press). Terrestrial and semi-terrestrial decapod crustaceans from Fude-iwa Island, Miyako Group, the Ryukyu Islands, Japan. Bulletin of the Miyakojima-city Museum. Weese, D., Fujita, Y., & Santos, S.R. (accepted). Looking for needles in a haystack: Molecular identification of anchialine larvae from the Shiokawa Spring, Okinawa, Japan. Journal of Crustacean Biology.</p>
Contact information	E-mail: fujitayo@okigei.ac.jp

一般社団法人 JEAN (Japan Environmental Action Network)
 事務局長 小島 あずさ (Kojima Azusa)

Introduction	<p>活動地域: 日本全国 Establishment: September 1990 Number of staff: 7 persons</p> <p>春と秋に、全国規模のクリーンアップキャンペーンを実施しており、参加者は3万人以上。春は身近な場所をきれいにする活動、秋は国際海岸クリーンアップ (ICC) として、国際的なごみ調査を兼ねたクリーンアップを行います。日本での ICC を推進する傍ら、【海ごみサミット】や【海ごみプラットフォーム】などを開催して、海洋ごみ問題の対策を進めるための意見交換や情報の共有に努めています。</p> <p>写真パネルや漂着物のトランク・ミュージアムなどの海洋ごみに関する展示物や教材の制作・貸出、講演やワークショップの実施など、普及啓発と環境教育にも取り組んでいます。</p> <p>政策提言活動にも注力しており、2009年7月の海岸漂着物処理推進法の制定に寄与しました。</p> <p>震災起因漂流物問題への取り組みを契機に、米国やカナダの NGO との交流や連携にも力を入れています。</p>
--------------	--



漂着物のトランク・ミュージアムを用いた小学校の授業風景とワークショップ

Contact information	URL: http://www.jean.jp/ E-mail: cleanup@jean.jp
---------------------	--

那覇クリーンビーチクラブ (Naha Clean Beach Club) 代表 具志頭 朝一 (Gushikami Tomokazu)

Introduction

活動地域: 沖縄本島(主に瀬長島)

Establishment: 1999

Number of staff: 20 persons

毎年3月～11月までの第三日曜日の10時より豊見城市瀬長島にて海岸清掃を行っております。

瀬長島においては沿岸整備の為潮流に変化が見られ海岸漂着物がここ数年多くなっております。

今季で18年目を迎え「大人が変わらなければ何も変わらない」をテーマに今後も活動していきます。

【今後の活動予定】

18年目を迎え今後は「後継者」「後継グループ」の育成及び大人への啓発等「環境教育」を行っていきます。

【アピール】

やはり「大人が変わらなければ何も変わらない」



Contact information

URL: <http://ncb.ti-da.net/>

E-mail: icc@ryukyu.ne.jp

しかたに自然案内 (Shikatani's Nature Guide Service) 代表 鹿谷 麻夕 (Shikatani Mayu)

Introduction	<p>活動地域: 沖縄県 Establishment: 2003 Number of staff: 2 persons</p> <p>私たちは、主に沖縄県内の学校や地域グループ等を対象とした海の自然観察会と環境教育を行っています。</p> <p>私たちのプログラムでは、地域ごとの自然環境の特徴をふまえて観察会や学習テーマを個別に組み立てます。よく扱うテーマは、海の生態系、生物多様性、そしてごみ問題です。</p> <p>これらの活動を通して、「環境と自分たちの暮らしとの関わりに気づき、自分たちにできることを考え、行動する人を育てる」ことが、私たちの環境教育の目標です。</p> <p>【今後の主な活動】</p> <p>浦添市港川の海では、毎年地元の小学校で環境学習を行うほか、自主的に毎月の定点モニタリング調査を行っています。また県内の小中高校や大学など、様々な場で環境教育の機会を設けて行きます。</p> <p>【メッセージ】</p> <p>人々が地元の海の自然を理解し、きれいな海を未来に残していけるように、活動していきたいと思えます。</p> <p>さらに、黒潮でつながる地域の皆さんと交流ができることを楽しみにしています。</p>
 <p>海の自然観察会</p>	 <p>漂着物を調べる</p>
Contact information	<p>URL: http://www.shikatani.net/ E-mail: shika@shikatani.net</p>

久米島ホテルの会 事務局長 佐藤 直美 (Sato Naomi)

Introduction

活動地域: 久米島

Establishment: 1994

Number of staff: 45 persons

久米島町教育委員会施設『久米島ホテル館』を拠点として、4～5月にクメジマボタルの調査と観察会、6～7月に漂着ゴミや不法投棄ゴミの回収を呼びかけるイベント、8～12月に陸生ボタル及び幼虫の調査と観察会等の年間を通した大人向けの活動に加え、毎週土曜日の午前中には植物・昆虫・鳥の調査と小・中学生を対象に島の自然を体験し保全する目的の活動を行っています。

また、一般の方が入り難い場所の不法投棄ゴミの回収作業を行うことで、自然を痛めている原因を直視しつつ、赤土流出防止や、植栽作業、学校の環境学習への理解を深める努力をしています。

他には、久米島を訪れる修学旅行生や企業研修生、旅行者へのフィールドガイドや、毎月福島県から保養に来る保護者や子供達への自然遊びのサポートも行っています。

【今後の活動予定】

これまで継続してきた上記の活動を発展させつつ、赤土流出防止にもなる田の再生、在来植物の苗作り、久米島紬の天然染料などに取組み、自然を見守りつつ調査、行動、啓発を続けます。

【アピール】

人間は、地元の自然環境を理解することにより、無理なく安全で、そして豊かで幸せに生きる事が出来ると考えます。子ども時代の自然との触れ合いが多いほど、人としての生き方を豊かにしてくれます。私達は、その自然の案内人として、大きな活動ではなく、正しい活動を目指しています。



ホタレンジャー活動・赤土探検隊



ブルーサンタで立神海岸清掃

Contact
information

URL: <http://kumejima.wixsite.com/kumejimahotaru2>

E-mail: kumehotaru@yahoo.co.jp

漫湖自然環境保全連絡協議会 会員 池村 浩明 (Ikemura Hiroaki)

Introduction	<p>活動地域: 沖縄県 Establishment: July 1999 Number of staff: 15 persons</p> <p>【目的】漫湖は古来豊かで風情にとみ、地域住民はもとより県民に親しまれてきた。しかしながら近年の都市化で環境が悪化、自然生態系にも異変が生じている。この漫湖の自然環境の保全及び荊宿を図るべく、情報交換、必要な対策の樹立、積極的な行動を展開する。</p> <p>【今後の活動予定】設立当初から取り組んでいる、地域参加の清掃イベント「チュラカーギ作戦」を今後も継続していくとともに、ここ数年取り組んでいる「漫湖の利活用についての自主的ルール」の確立と普及を進めていく。</p> <p>【アピール】協議会本来の目的である、漫湖に関わる人たちや各団体に対して、自由に話し合える場の提供に努める。</p> <p>【メッセージ】協議会員だけでなく、漫湖周辺に暮らす地域のお年寄りから子どもたちまで、みんなで漫湖の自然環境を守っていききたい。</p>
--------------	--



「チュラカーギ作戦」にて、
子どもたちと一緒にゴミ拾い



地域の先輩方から
昔の漫湖の様子について話を伺う

Contact information	<p>URL: http://hozenkyo.blogspot.jp/ E-mail: ikemura-hiroaki@manko-mizudori.net</p>
---------------------	--

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
 (Okinawa Coral Reef Conservation Council) **会員**
特定非営利活動法人 美ら海振興会 理事
小菅 陽子 (Kosuga Yoko)

Introduction

● 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 会員としての活動

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会は、サンゴ礁をまもる人を結び、活動する場であり、健全なサンゴ礁を次世代に残すことを目指して地域住民、漁業者、観光業者、農業者、県内外の企業、教育関係者、研究者、NPO、行政機関など多くの会員が在籍しています。協議会に個人会員として加盟し、普段はダイビングサービスと協力してサンゴの調査や水中保全活動を行っています。毎年3月5日を含む前後の期間で開催される「サンゴ礁ウィーク」には昨年度から実行委員として参加しています。

URL: <http://coralreefconservation.web.fc2.com/>

E-mail: coralreef@okinawa.or.jp

● 特定非営利活動法人 美ら海振興会 理事としての活動

かつての美ら海を取り戻したいという志あるダイビングサービスと個人が集う団体である「美ら海振興会」の理事として、沖縄本島・離島の事業所や事業者と県市町村で行うマリンレジャーの安全対策訓練及び沖縄の海の環境保全 & 環境改善としてオニヒトデ駆除活動、サンゴの保護活動、水中及び陸上清掃活動などを行っています。

URL: <http://churaumishinkokai.com>

E-mail: npochuraumi@gmail.com



本島近隣のサンゴを調査中



サンゴの天敵駆除



水中清掃の様子とごみ



漁港・マリーナ清掃の様子とごみ

沖縄リサイクル運動市民の会
(Okinawa Citizen's Recycling Movement)
環境プロジェクト担当 眞喜志 敦 (Makishi Atsushi)

Introduction	<p>活動地域: 沖縄県 Establishment: 1983 Number of staff: 5 persons</p> <p>1983年「物を大切にするとところから心の豊かさを取り戻そう!」の呼びかけのもとに市民団体として設立。ゴミやリサイクル・環境教育・市民活動等をテーマとした市民参加型の催しや事業を多数開催。</p> <p>誰もが、気軽に参加できる”場”と”システム”を提案し、常に新たな試みを繰り返しながら、[エコロジカルな産業活動の支援]、[循環システムの構築]、[環境教育]、[NPOなど市民セクター形成]の4つの領域を柱に活動を展開している。</p> <p>【今後の活動予定】 ごみ減量、3Rに関する啓発や環境教育事業を続けていく他、ここ数年は特に、途上国や島嶼国における廃棄物管理の支援を行っている。</p> <p>【アピール】 沖縄における環境NPOの草分けとして30年以上活動を続けている。オリジナルの環境教育プログラム「買い物ゲーム」は、体験者は3万人を超え、マレーシアやベトナムなど海外へも広がっている。</p>
--------------	--



子ども向けごみ減量啓発のための環境教育プログラム「買い物ゲーム」



途上国の最終処分場の様子

Contact information	<p>URL: http://oki-rec.pluto.ryucom.jp/ E-mail: oki-rec@ryucom.ne.jp</p>
---------------------	---

NPO 法人 宮古島 海の環境ネットワーク
(Miyakojima Sea Environmental Network)
事務局長 春川 京子 (Harukawa Kyoko)

Introduction

活動地域: 宮古諸島地域
Establishment: February 2012
Number of staff: 22 persons

NPO 法人宮古島海の環境ネットワークは、宮古島の海が大好きなメンバーが集まり、「宮古諸島の海をいつまでもきれいに守っていききたい」という思いで設立しました。1) 海岸清掃事業としてボランティア海岸清掃の企画、実施や情報ネットワークづくり、2) 教育事業として、地域の人々向けの環境教育プログラムの提供や学校への出前授業、そして3) 海洋調査事業としてサンゴの定点調査などを行っています。

【アピールとメッセージ】

海岸清掃の時に、「海ゴミを知ろう!」という環境教育プログラムを実施しています。それが、参加される方々の環境意識が高まり、海ゴミを減らすために自ら行動するきっかけになるかと思うからです。

また、楽しいアクティビティとコラボした海岸清掃イベント「海 LOVE in 宮古島」を開催しています。

他団体と情報共有、協力し合って活動を広げていきたいです。



清掃前に環境教育を実施



北東海岸にたまる漂着ゴミ

Contact
information

URL: <http://econet.jpn.org/>
E-mail: miyako@econet.jpn.org

石垣島沿岸レジャー安全協議会 役員 大堀 健司 (Ohori Kenji)

Introduction	<p>活動地域: 沖縄県石垣市(石垣島) Establishment: 2005 Number of staff: 17 persons</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石垣島沿岸レジャー安全協議会としては、年数回の各自が利用するフィールドの清掃活動。 ・漂着ゴミに関する環境教育活動。 <p>【今後の予定】 継続的なフィールドの清掃をしていきます。 イベントなどで漂着ごみ問題の環境教育活動を行います。</p> <p>【アピール】 他団体と協力しながら、メンバーそれぞれの得意分野を活かし、無理のない気持ちの良い活動を続けていきたい。</p>
	
Contact information	<p>URL: http://ishigaki-safety.info/ http://2933tours.com/ E-mail: fukumimi@wonder.biglobe.ne.jp</p>

海 LOVE ネットワーク事務局 実行委員長 笠原 利香 (Kasahara Rika)

Introduction	<p>活動地域: 八重山諸島地域 (主に石垣島) Establishment: 2009</p> <p>【立ち上げの主な目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーチクリーンをする人のサポート ・人・団体のビーチクリーン活動ネットワークをつなげ、広げる ・年に一度、「海 LoveLove フェスタ」のイベントを開催 <p>「海 LoveLove フェスタ」について……</p> <p>ビーチクリーンが初めてという方を始め、多くの人にビーチクリーンを体験していただき、漂着ゴミの現状に興味をもっていただくためです。漂着ゴミアート作成、パラグライダーを使って撮影、ライブや炊き出しをして楽しめる工夫をしています。</p> <p>活動すべてがボランティアで行います。お金の行き来や権威で人を動かさない為。立場や年齢の壁を超えて、海が好き、島が好きという同じ気持ちの友達の輪を広げることを大切に活動しています。無理のない楽しいビーチクリーンが活動の基本です。</p> <p>【アピール】</p> <p>フェスタの語尾に「in 石垣島」とつけたのは、他の場所でもこのフェスタを開催され、広がって欲しいという思いからです。海でつながった島や国と一緒にこの問題と向き合って、解決していきたいという思いがあります。みんなでビーチクリーンすると楽しい！！この気持ちを広めていきたいです。</p>
	
Contact information	<p>URL: http://umilovlove.com/ E-mail: umilove@bird.ocn.ne.jp</p>

石垣ビーチクリーンクラブ (Ishigaki Beach Clean Club) 代表 佐藤 紀子 (Sato Noriko)

Introduction	<p>活動地域: 八重山諸島地域 (主に石垣島) Establishment: 2009 Number of staff: 17 persons</p> <p>私達 IBCC 石垣ビーチクリーンクラブは、2003 年よりサーフィンやボ ディボードの女子仲間が中心となり海岸清掃活動を始めました。石垣 島の海岸で夏期を除き月に一度のペースで海岸清掃を行っています。 海岸清掃を行う際には、IBCC が加盟している八重山環境ネットワーク (行政機関・民間団体・個人で構成され八重山の海洋環境保全推進活 動を行う組織) や海・Love ネットワーク事務局より一般参加を呼び掛け る情報提供の協力があります。</p> <p>【今後の活動】 一人でも多くの方に参加していただき、海岸清掃を体験してもらい、 ごみを捨てない心を広げたい。楽しく無理のない活動の継続。</p> <p>【アピール】 海ごみの問題は、全世界の人々の問題です。私達が行っている活動 は、今私たちに出来る小さな行動ですが、海岸清掃の輪が広がり、世 界中のビーチにごみがなくなることを願い活動していきます。この機会 にぜひ台湾の皆さまと交流し、今後情報の共有や一緒に考えていける 関係を築きたいです。楽しみにしています！</p>
	
2012 年 10 月 白保 (石垣空港東側)	2014 年 9 月 7 日 真栄里海岸
Contact information	<p>URL: http://www.churaumi.net/ http://umilovelove.com/ E-mail: surfsa@hotmail.co.jp</p>

NPO 法人 西表島エコツーリズム協会

(Iriomote Island Ecotourism Association)

理事 徳岡 春美 (Tokuoka Harumi)

Introduction	<p>活動地域: 八重山諸島地域 (主に西表島) Establishment: 1996</p> <p>NPO 法人西表島エコツーリズム協会は、人と自然が共生する西表島をめざして、西表島における観光事業者の意識・スキルの向上や、住民自身が自然環境を保全し、自然と調和した暮らしを継承していける自立した地域社会を作ることとを目的として設立しました。エコツーリズムを手段として、「環境保全」「環境教育」「エコツーリズム」「文化継承」の4つのキーワードを軸に様々な活動を行っています。</p> <p>海岸清掃活動(ビーチクリーンアップ大作戦)は、八重山環境ネットワーク西表エコプロジェクトと協働で毎月1回、10年以上にわたって行っています。また、回収したゴミを分別し、回収量やペットボトルの原産国を調査し、データとして蓄積しています。</p> <p>【今後の活動】</p> <p>西表島は県内で二番目に大きい島ですが、人口はわずか2,300人程度です。今後は観光客や修学旅行生などと一緒に清掃活動ができる仕組みもつくっていきたくと考えています。</p> <p>【メッセージ】</p> <p>元気な島っ子たちといっしょに活動しています。そんな子どもたちに島の素晴らしい自然をそのまま残してあげたいです。</p> <p>正会員: 個人 41 名、団体 7 団体 賛助会員: 35 名</p>
	
Contact information	URL: http://iriomote-ea.com E-mail: info@iriomote-ea.com

ビーチクリーンアップ大作戦(鹿川海岸)

島内の子供向けの環境教育プログラム

NPO 法人 美ら海振興会 副会長
(株)パシフィック・ホスピタリティ・グループ HR 事業部長
加藤 淳一 (Kato Junichi)

活動地域: 沖縄本島及び一部の離島地域

沖縄本島における海岸清掃活動に加え、チービシ諸島/神山島(無人島)での生物調査や海岸清掃(海岸漂着物の分析も含む)等を中心に関わっています。

その他、海中清掃、港湾清掃、海中有害生物駆除及びサンゴの植え付け事業等を行っています。

【今後の活動予定】
 サンゴをはじめとした海洋生物と生息環境を学べる絵本教材(生息環境に関連した海岸漂着物の問題も含む)を作成・活用し、観光客や地域住民・子どもたちに沖縄の海の大切さや素晴らしさを伝えていきます。

【アピール】
 国立大学法人琉球大学にて「海洋レジャー産業論」の授業を開講し、問題意識を持った社会人教育に取り組んでいます。

Introduction



環境教育の事前レクチャー



無人島ビーチクリーン

Contact information	URL: http://www.churaumishinkokai.com E-mail: info@churaumishinkokai.com
----------------------------	--

公益財団法人沖縄こどもの国(沖縄地域環境センター)
 OKINAWA Zoo&Museum (Regional Environmental Center)
 こども未来課沖縄県地域環境センター担当
 比嘉 香織(Higa Kaori)

Introduction	<p>活動地域: 沖縄県</p> <p>沖縄県における環境保全活動の拠点として、地域における環境保全活動を支援することを目的に、1990年度に県庁4階に設置されました。</p> <p>2012年度から『沖縄こどもの国』チルドレンズセンター1階に設置されています。</p> <p>環境に関する教材、図書、ビデオやパネル等の貸出や環境一般に関する県民からの照会の対応を行っています。</p> <p>また、県民の環境保全に対する意識の高揚や、環境教育の普及に向け、セミナーや野外観察会、出前講座などを実施し、年間を通して広く啓発活動を行い、積極的に環境情報の発信に努めています。</p> <p>【今後の活動予定】 県内離島を含め幅広い層の人たちにむけて環境教育を実施</p>
--------------	--



海の観察会



漂着物のワークショップ

Contact information	URL : http://www.kodomo.city.okinawa.okinawa.jp/page/kankyo2/ E-mail : kankyo-center@kodomo.city.okinawa.okinawa.kp
---------------------	--

●台灣參加團體



台灣清淨海洋行動聯盟

Taiwan Ocean Cleanup Alliance (T.O.C.A)

	<p>財團法人 黑潮海洋文教基金會</p> <p>Kuroshio Ocean Education Foundation</p>
<p>Member</p>	<p>研究員 呂允中 (Lu Yun-Chung)</p>
<p>Introduction</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Pass on the monitoring method (2004~) • Organize ICC(2004~) • Long term monitoring research in Hualien (2004~2006) • International cooperation • Organize TOCA • Education and Exhibition 
<p>Contact information</p>	<p>URL : http://www.kuroshio.org.tw E-mail : kuroshio@koef.org TEL : 03-8246700 / FAX : 03-8246717 ADD : No.81,Zhongmei Rd., Hualien City, Hualien County 970, Taiwan</p>

The Society of Wilderness

Member	海洋守護專員 胡介申 (Hu Chieh-Shen)
Introduction	<p>Join ICC since 2006 Make the teaching plan and use in the school More than 5000 volunteers join ICC each year</p>  
Contact information	<p>URL : https://www.sow.org.tw/ Website for cleanup : https://cleanocean.sow.org.tw Email : oceanday@wilderness.tw TEL : 02-2307-1568 / FAX : 02-2307-2568 ADD: No.204, Zhaoan St., Zhongzheng Dist., Taipei City 100, Taiwan</p>



Taiwan Environmental Information Association

Member	專案執行 陳姿蓉 (Chen Zih-Rong)
Introduction	<p>Do the monitoring program in Taipei , Penghu ,Taitung Special column of marine debris on newsletter Cups art exhibition</p>  
Contact information	<p>URL : http://teia.tw E-mail : service@e-info.org.tw TEL : 02-2933-2233 ADD : No.38, Wanlong St., Wenshan Dist., Taipei City 116, Taiwan</p>

National Museum of Marine Science & Technology

Member	展示教育組主任 陳麗淑 (Chen Li-Shu) 展示教育組環境教育專職人員 許婉瑜 (Hsu Wan-Yu)
Introduction	<ul style="list-style-type: none"> • Monitoring program • Education • Exhibition <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">   </div>
Contact information	URL : http://www.nmmst.gov.tw/ E-mail : ocean@mail.nmmst.gov.tw TEL : 02-24696000 ADD : No.367, Beining Rd., Keelung City 202, Taiwan

海洋公民基金會

財團法人 海洋公民基金會

Member

執行長 翁珍聖 (Weng Chen-Sheng)

Introduction

Let's make the ocean a better one.

- Marine Conservation
- Environmental Education
- Citizen Participation



Contact information

URL : <http://www.iocean.org.tw>

Email : services@iocean.org.tw

TEL : 06-9211007 /FAX : 06-9212207

ADD : No.92-77, Xiwen'ao, Magong City, Penghu County 880, Taiwan (R.O.C.)

Taiwan member : Leela On



福智淨塑推動小組 Bliss & Wisdom Plastic Free Crew

Member

專案負責人 許靜娟 (Hsu Jing-Juan)
專案負責人 駱貞羽 (Lo Chen-Yu)

Introduction

We are a project-based team under Tse-Xin Organic Agriculture Foundation.

One of the Buddhist doctrines that we advocate is nonviolence and compassion for all sentient beings, including animals. When we learned that using plastics would lead to the deaths of birds and sea animals, we wanted to join the campaign against plastics. We have thus begun promoting the importance of NOT using plastics to our 70,000 members and students. We have initiated a number of NO PLASTICS campaigns so far.



Contact
information

URL : <http://www.iocean.org.tw>

Email : Bwnoplastic2017@gmail.com

TEL : 02-2578-7167

ADD : 3F., No.106, Sec. 4, Nanjing E. Rd., Songshan Dist., Taipei City 105, Taiwan (R.O.C.)

Taiwan member : 許靜娟(Jing-Juan Hsu) 駱貞羽 (Kat Lo)



Hiin studio

<p>Member</p>	<p>執行長 陳人平 (Chen Ren-Ping) 副執行長 郭 芙 (Kuo Fu)</p>
<p>Introduction</p>	<p>海洋教育活動 Marine education activities 淨灘結合旅遊 Beach cleaning combined with tourism 找尋海洋廢棄物的回收方案 Recycling for marine litter 研發環境友善商品 Ecofriendly goods</p>
<p>Contact information</p>	<p>URL : http://hiinstudio.wixsite.com/hiin E-mail : hiinstudio@gmail.com TEL : 0928-222-068 ; 0982-504-549 ADD : 8F., No.6, Ln. 25, Jianan St., Xinzhuang Dist., New Taipei City 242, Taiwan</p>

●上海・福建参加团体